

佐久市立国保浅间総合病院

診療案内 2023

Asama General Hospital



病院理念

Hospital Idea

患者さん中心の、患者さんのための、良質な医療の実践

基本方針

時代に応じた地域のニーズの把握に努め、保健・医療・福祉の向上に寄与します。
医療に従事する者として、常に医学・医療の研鑽に励み、患者様に満足いただけるよう努力します。
最適な医療を提供するために、ソフト・ハード両面における医療環境を整備します。
患者様の権利を尊重し、インフォームド・コンセント（説明と同意）に基づいた医療を提供します。

指定病院等

保険医療機関、生活保護法指定病院、身体障害者福祉法指定病院、労災保険指定医療機関、障害者総合支援法指定障害福祉サービス（短期入所）事業者、被爆者一般疾病医療機関、救急告示病院、へき地医療拠点病院、日本内科学会認定教育施設、日本糖尿病学会専門医認定教育施設、日本外科学会認定医修練施設、日本整形外科学会認定研修施設、日本耳鼻咽喉科学会専門研修プログラム連携施設、日本眼科学会認定研修施設、日本病理学会登録施設、日本循環器学会循環器専門医研修関連施設、基幹型臨床研修病院、臨床研修協力病院（信大、東邦大）、歯科医師臨床研修施設、日本口腔外科学会認定関連研修施設、日本老年歯科医学会専門医研修施設、(財)日本医療機能評価機構認定病院（認定第GBI 2-5号）、日本専門医機構総合診療専門研修基幹施設、国保歯科保健センター、訪問看護ステーションあさま、指定居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、乳幼児保育所「こすもす保育園」、病児保育所併設



市民に頼りにされる浅間病院 働き甲斐のある浅間病院

佐久市病院事業管理者
佐久市立国保浅間総合病院院長

箕輪 隆



当院は昭和34年に旧北佐久郡浅間町を中心とした10町村の組合立病院として、国民健康保険基金から財政支援を受け5診療科20床で開院いたしました。以来、公立病院として62年間佐久の地域医療を守って参りましたが、令和5年4月現在20診療科、医師数63名、一般病床・地域包括ケア病床・介護療養病床計278床のケアミックス型の病院として佐久地域の二次医療機関の中核に成長し、年間20万人の外来患者、7万人の延べ入院患者、2,000台の救急車を受け入れています。また、当院は国保直診病院として「適正な保険診療」と「予防活動」の実践という二足のわらじを履いて、地域の健康寿命の増進に貢献して参りました。今後も大学・研究機関と連携した公衆衛生活動、健康診断事業、住民向け講演会、更には国保地域医療学会活動を重要な業務と位置付けて展開して参ります。

浅間総合病院では草創期の昭和37年には県内初の開頭術を、昭和38年には県内初の開心術を成功させた歴史があります。また、糖尿病が専門の初代吉沢國雄院長は、現在では当たり前に行われているインスリンの自己注射を保険適用させるために奔走され、「長野方式」という処方・検査・連絡・自己注射方式を編み出して、これを粘り強く医師会・国に求め、昭和56年保険適用が認められました。こうした先取の精神は現在も当院に脈々と受け継がれています。糖尿病センターでは糖尿病患者の全身管理を体系的に行いながら、多くの新薬の治験に参加し、リブレなど最新の血糖モニタリングシステムもいち早く導入しました。また、多くの糖尿病専門医、糖尿病療養指導士を育成し、現場で活躍しています。

整形外科では患者さんの負担の軽い鏡視下手術や変形性膝関節症への再生医療の導入により良い成績をだしています。産婦人科でも地域のお産を守りつつ、「コウノトリ外来」を開設し、顕微授精・凍結胚移植など先端的な不妊治療を低コストで展開しています。令和4年度には心臓血管造影室増築工事が竣工し、新鋭機器を用いた冠動脈・閉塞性動脈硬化症治療が始まりました。

人材育成では、平成16年の新医師臨床研修制度の開始以来、約80名の医科研修医を全国に送り出してきました。平成17年からは歯科医師臨床研修も開始し、訪問歯科、障がい者歯科診療など地域に根ざした歯科研修を実施しています。

さて、現在の日本の医療機関の最優先課題は、新型コロナウイルス感染症対策です。当院でも発熱外来、振り分け診察・コロナ病棟での入院治療、院内での集団ワクチン接種に職員一丸となって取り組んで参りましたが、今後も行政や地域の医療機関と連携して、ウィズコロナの感染対策を実践してまいります。

私は浅間総合病院事業管理者として病院運営を進めるにあたり、「市民に頼りにされる浅間病院」、「働き甲斐のある浅間病院」、「健全経営に向けた努力」を基本に考えています。本年度の「病院機能評価の受診」、国の進める「地域医療構想策定」や「医師の働き方改革の実施」、「公立病院経営強化プランの策定」など、まったなしの課題が山積していますが、この三本柱を踏まえてこれらの課題に取り組み、より良い地域医療を提供して参りたいと考えております。

病院各階構成図 4	脳神経外科 35	医療技術部 59
佐久市立国保浅間総合病院の 卒後臨床研修のご案内 6	産婦人科 37	薬剤科 60
2023年度 研修医のご紹介 7	眼科 40	臨床検査科 62
地域医療部 8	小児科 42	臨床工学科 64
地域医療室 9	新生児科 43	放射線科 66
在宅支援室 11	耳鼻咽喉科 44	歯科口腔衛生技工科 68
野沢地域包括支援センター 11	歯科口腔外科 46	リハビリテーション科 70
内科 12	泌尿器科 49	栄養科 72
循環器内科 15	形成外科 50	看護部 74
特殊外来 16	皮膚科 51	医療安全管理室 78
スマート外来 18	救急医療部 52	感染制御室 80
糖尿病内科 19	麻酔科 53	病院概要 82
心療内科 25	病理科 54	1 沿革 82
外科 26	総合診療科 55	2 土地の面積、建物の構造、面積 88
血管外科 30	診療所・へき地診療所 56	3 職員数 90
呼吸器科 31	地域包括ケア病棟 57	4 浅間総合病院組織機構図 91
整形外科 32	手術部 58	5 受診患者数 92
		7 主要医療機器 94
		検査予約申込書 97~

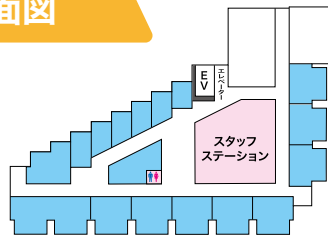
掲載の診療体制は令和5年6月1日
現在のものです。

病院各階構成図



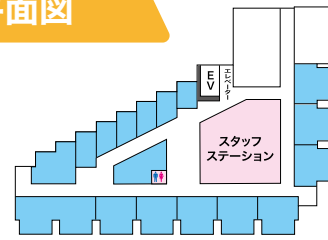
※ 現時点では発熱外来となっております。状況によって変更となります。

5階
平面図



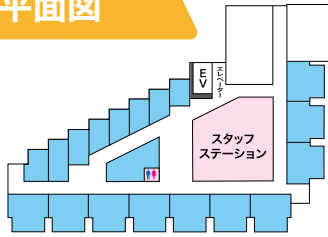
西棟

6階
平面図

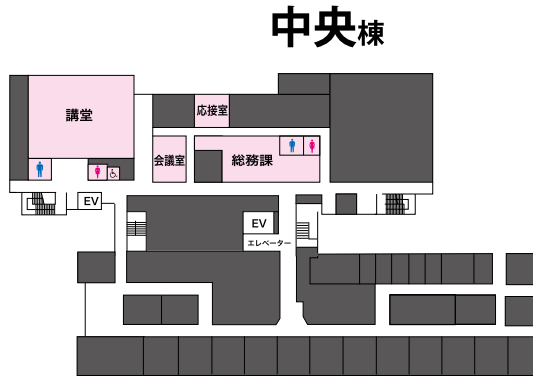


西棟

4階
平面図

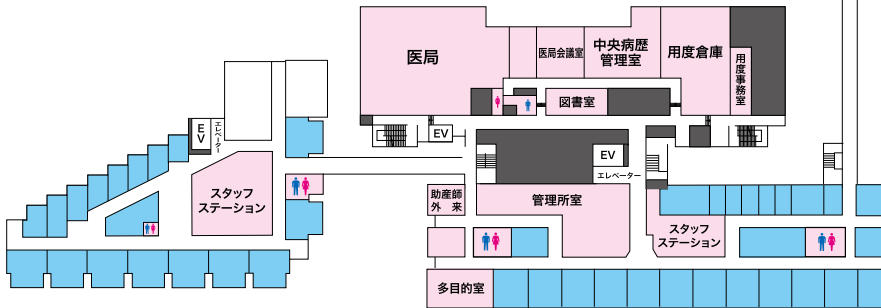


西棟



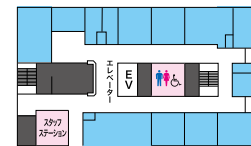
中央棟

3階
平面図



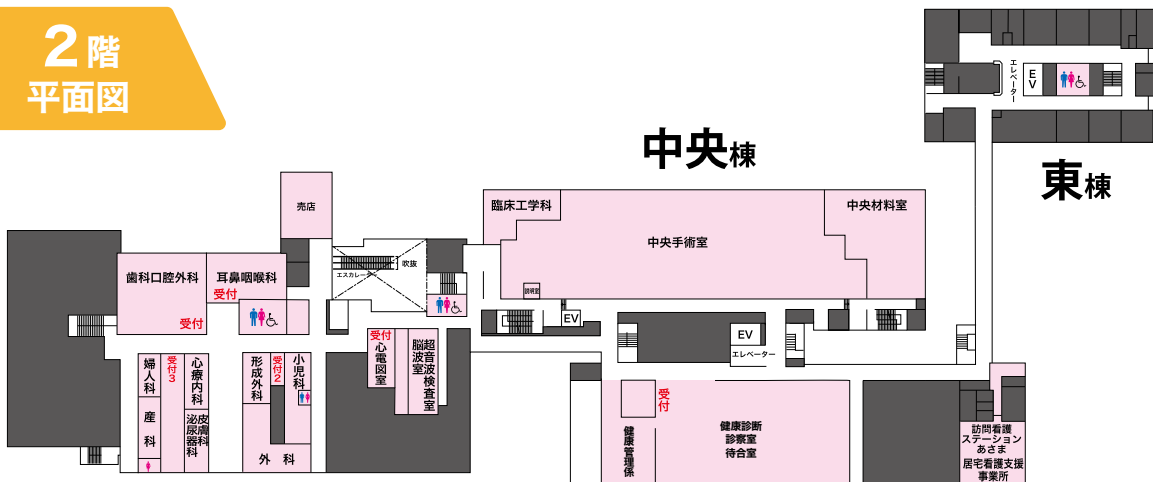
西棟

南棟



東棟

2階
平面図



西棟

南棟

東棟

佐久市立国保浅間総合病院の卒後臨床研修のご案内

浅間病院群臨床研修プログラム

基幹型臨床研究病院

佐久市立国保浅間総合病院

協力型臨床研修病院

佐久穂町立千曲病院

独立行政法人国立病院機構小諸高原病院

東邦大学医療センター大森病院

東邦大学医療センター佐倉病院

軽井沢町国民健康保険軽井沢病院

長野県厚生連佐久総合病院

東邦大学医療センター大橋病院

臨床研修協力施設

佐久保健福祉事務所

鳴瀬診療所

平尾診療所

信州大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム

基幹型臨床研修病院

信州大学医学部附属病院

協力型臨床研修病院

佐久市立国保浅間総合病院

臨床研修協力施設

独立行政法人国立病院機構小諸高原病院（精神科）

佐久市立国保浅間総合病院単独型歯科医師臨床研修プログラム

単独型臨床研修施設

佐久市立国保浅間総合病院

東京医科歯科大学歯学部附属病院臨床研修プログラム 1

基幹型臨床研修施設

東京医科歯科大学歯学部附属

病院協力型臨床研修施設

佐久市立国保浅間総合病院

2023年度 研修医のご紹介

氏名・略歴	氏名・略歴
 <p>みやた ゆうすけ 宮田 侑典 浅間病院群プログラム2年次</p>	 <p>うしなが たいこう 氏永 泰光 浅間病院群プログラム1年次</p>
 <p>すずき ひろむ 鈴木 宏武 浅間病院群プログラム2年次</p>	 <p>やまなし たくみ 山梨 拓海 浅間病院群プログラム1年次</p>
 <p>かわきた まさゆき 河北 真幸 浅間病院群プログラム2年次</p>	 <p>いさはい ともひで 砂歪 朋秀 浅間病院群プログラム1年次</p>
 <p>なぐも やすと 南雲 泰斗 浅間病院群プログラム2年次</p>	 <p>たけしげ はるか 竹重 遥 浅間病院群歯科プログラム1年次</p>
 <p>あらい あんな 新井 杏奈 浅間病院群プログラム2年次</p>	



地域医療部

【ちいきいりょうぶ】



Local Medical Section

■ 地域に開かれた病院の窓口として

「地域医療」のさががけであった初代院長（名誉院長）故吉澤國雄先生の精神を受け継ぎ、発展させるべく設けられた部署です。

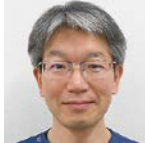

地域医療部の理念

地域住民が安心して暮らせる良質な医療・保健・福祉・看護・介護を提供するために、院内外の円滑な連携を強化していきます。

- ① 地域と病院とを結ぶ開かれた窓口として、医療・健康に関する外部の要望を受け入れるとともに情報の発信源になります。
- ② 住民の健康を守るため保健・健診事業に力を入れます。
- ③ 福祉・介護と医療との連携を図り在宅医療を支援します。
- ④ 院内の医療・介護間の調整を行い、退院後の在宅生活を支援するため、他の医療機関・介護保険施設等との連携を図ります。

この理念を実践するために地域医療室と在宅支援室を設置しました。

地域医療部医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 地域医療部長(兼) 内科部長(糖尿病内科) 糖尿病センター長 にしもり えいた 西森 栄太	平成17年	糖尿病 一般内科 プライマリ・ケア	日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・指導医 日本医師会認定産業医
 地域医療部副部長 健康管理科部長 臨床検査科部長 いまふく ゆうじ 今福 裕司	平成4年	臨床検査医学	日本臨床検査医学会認定 臨床検査専門医 日本医師会認定産業医

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

医療連携係のご案内

患者さんをご紹介いただく場合は、事前予約をお勧めしております。

FAXで診療情報提供書（お手持ちの用紙で結構です）
をお送りください

FAX番号 **0267-67-4920**（直通）

■ 平日 8時30分～17時

TEL.0267-67-2295（代）

※患者さんの氏名、ふりがな、性別、住所、電話番号、
日中の連絡先（携帯電話など）を必ずご記入ください。

※休日・祝日・時間外は
救急外来へご連絡を
お願いいたします。

予約日の調整

担当者が予約日時を調整後、「予約
確認票」をFAXにて返送しますので
患者さんにお渡しください。

受診

予約当日は総合受付にお越しいただくようご案内ください。

〈持ち物〉 ● 紹介状、データ
● 保険証
● 当院の診察券（お持ちの方）
● お薬手帳

検査予約について

- ① 【CT・MRI・RI検査予約申込書】を医療連携係にFAXしてください。
- ② 医療連携係が予約をとり、【検査予約確認票】および各検査の案内・【〇〇造影検査を受ける方へ（説明・問診・同意書）】（造影検査の方のみ）をFAXいたします。
- ③ お手数でも検査についての概要説明を行ってください。
※ CT造影・MRI 造影の場合、同意書と問診票が必要となります。
同意書はもれなく記入・署名の上、FAXしていただき、原本は当日必ず患者さんがご持参ください。
- ④ 予約当日に紹介患者さんは総合受付にお越しください。

当日持参して
いただくもの

● 検査予約申込書 ● 予約確認票 ● 保険証
● 浅間病院の診察券（お持ちの方） ● 説明・問診・同意書（造影検査の方のみ）

セカンドオピニオンについて

当院では、既に他の医療機関で診察を受けている方が、現在の診療内容や治療方法について、専門医師に参考となる情報や意見を求めるセカンドオピニオンを実施しています。

● 料金：1時間 10,000円+（税） 予約制

地域連携パスについて

糖尿病連携パスについてご案内・ご予約させていただきます。

開放病床について

病院のベッドの一部を、診療所の医師に開放し、病院医師と診療所の医師が共同で診療を行うことができる病床です。（7床開設あり）

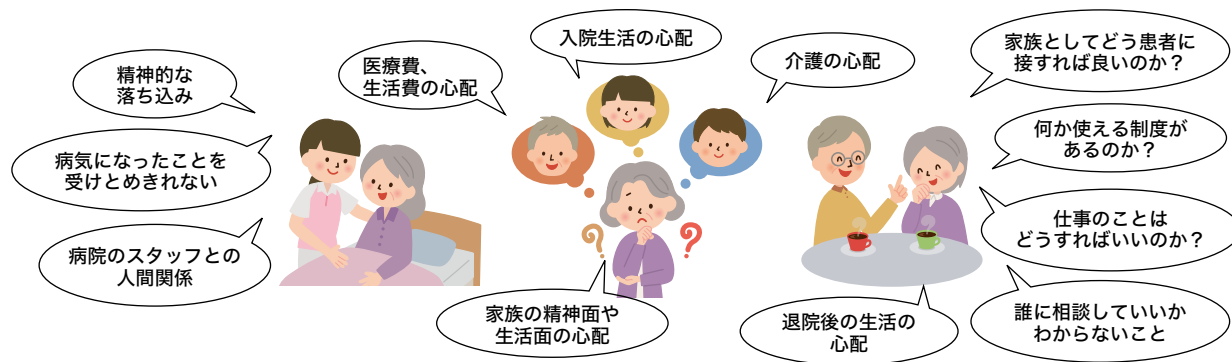
医療相談係

入院支援

予約入院される患者さん・ご家族と面談を行い多職種と連携し安心して入院生活が送れるように支援していきます。

相談支援

患者さんやご家族の抱えている心配事や問題などについて医療相談員（社会福祉士・看護師）がお話をうかがい解決するお手伝いをしています。このような時は、医療相談係へご相談ください。



●相談方法

医療相談係へ直接お越しください（電話での相談もお受けしております）。入院中の方やお体の不自由な方は、相談員が病室やお近くまで伺いますので、お気軽に職員へお申しつけください。

医療相談係

電話番号 **0267-67-2295**（内線2104/2105）

相談受付時間 **月曜日～金曜日
8時30分～17時15分**

健康管理係

皆さんのニーズに対応できるよう各種健康診断を用意しております。健康診断実施にあたっては、診察の段階で血液・尿検査の結果がわかり、結果を活かした生活改善の情報提供ができることや、健診結果報告書は過去3回の検査結果が示され経年的に経過が追えるようになっています。

また、予防接種・健康相談・産業医等の派遣などを行っています。

完全予約制です。

予約直通電話 **0267-67-6477**
FAX **0267-67-3320**

予約受付時間

月曜日～金曜日 14時00分～16時00分

体制

	月～金
午前	健康診断 予防接種 特定保健指導
午後	健康診断 予防接種 特定保健指導

※午後の健診は、一部実施できない項目があります。

健診内容

1泊2日人間ドック、半日人間ドック、おてごろドック、脳ドック（火、木曜日）、眼科ドック（火、金曜日）、特定健診、生活習慣病予防健診、事業所の定期健診、有機溶剤等による健康障害予防のための特殊健診、佐久市個別健診、個別がん検診、就職や進学のための健康診断などを行っています。

●健診後の相談

各種健診結果についての相談を行っています。特定保健指導も実施しております。

予防接種、抗体検査（対象年齢15歳以上）

- ・破傷風、A型・B型肝炎、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘、高齢者肺炎球菌、日本脳炎、狂犬病、インフルエンザ、带状疱疹、新型コロナ等
- ・各種抗体検査 風しんの追加的対策 県の事業（風しん抗体検査・予防接種）
- ・PCR検査（海外渡航者等のための陰性証明書の発行）

在宅支援室

【ざいたくしえんしつ】

加齢や疾病、障がい等により、自立した在宅生活が難しくなった方が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続して送れるよう、佐久市立国保浅間総合病院居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションあさま・野沢地域包括支援センターを設置しています。

佐久市立国保浅間総合病院居宅介護支援事業所

要介護認定を受けたご本人およびご家族の依頼により、介護保険に関わる業務（ケアプランの作成やサービス提供事業者との連絡調整等）を行っています。また、特定事業所加算（Ⅰ）又は（Ⅱ）の算定事業所であり、中重度者や支援困難な方への積極的な対応を行うほか、専門性の高い人材を確保し質の高いケアマネジメントを提供いたします。

事業区域：佐久市・小諸市・南佐久郡・北佐久郡 ※区域以外の方もご利用できます。
営業日：月曜日～金曜日 ※年末年始（12/29～1/3）および祝祭日を除く。
営業時間：8時30分～17時15分 ※営業日以外、時間外も緊急時は24時間連絡が取れる体制を取っています。
所在地：佐久市岩村田1862-1（佐久市立国保浅間総合病院内）
電話番号：0267-67-6616
FAX番号：0267-67-6617

訪問看護ステーションあさま

看護師・理学療法士・作業療法士が利用者の居宅を訪問して、病気や負傷のために支援を必要とする方の看護・リハビリテーションを行います。

安心して在宅療養が続けられるように、主治医の治療方針や居宅サービス計画に基づき他のサービス事業所と連携を図り、ひとりひとりの状況に合わせてサポートいたします。入院中から自宅での生活を見据えて介護方法や環境について相談に応じます。

介護保険、医療保険が利用できます。

24時間連絡対応体制

営業時間に関係なく、緊急に訪問看護サービスの必要が生じた時や、療養上の相談を必要とする場合に、電話による連絡を受け必要に応じ訪問する体制をとっています。

お申し込み方法

主治医・相談員・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター等にご相談ください。又は直接お電話でご相談ください。

事業区域：佐久市・小諸市・南佐久郡・北佐久郡 ※区域以外の方はご相談ください。

営業日：月曜日～金曜日 ※年末年始（12/29～1/3）および祝祭日を除く。

営業時間：8時30分～17時15分

所在地：佐久市岩村田1862-1（佐久市立国保浅間総合病院内）

電話番号：0267-67-7213

FAX番号：0267-67-6617

野沢地域包括支援センター

高齢者の方が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活が送れるように、主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士・生活支援コーディネーターがそれぞれの専門性を活かして、連携・共働して支援を行っています。

事業区域：大沢・野沢・桜井・岸野・前山
営業日：月曜日～金曜日 ※年末年始（12/29～1/3）および祝祭日を除く。
営業時間：8時30分～17時15分
所在地：佐久市取出町183（野沢会館内）
電話番号：0267-63-8430
FAX番号：0267-63-8431

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

内科 【ないか】



Internal Medicine

■全身がみられる内科医の集まりです

内科の病気は多岐にわたるため、はじめて受診された患者さんは、まず一般内科医が診察をし、必要があれば専門外来、専門医への紹介が可能。初診患者さんは原則として紹介状が必要で、再来患者さんはすべて予約となります。病診連携を積極的に働いていますので、開業医からの紹介があれば優先的に専門医の診察を受けられますし、希望があれば近所の開業医をご紹介します。

市民病院という立場から、地域での病気の啓発、検診、診療所、救急外来、急性期および療養病棟入院患者の管理から往診まで、日本内科学会教育関連病院という立場から専門医の育成、学会への参加と幅広い活動を行っています。

内科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
【常勤医師】			
 内科部長 (総合診療) たかはま みき 高濱 充貴	平成8年	総合内科	日本内科学会総合内科専門医麻酔科標榜医 マンモグラフィ読影認定医 乳腺超音波読影認定医 人間ドック学会認定医 日本登山医学会認定国際山岳医
 地域医療部長(兼) 内科部長(糖尿病内科) 糖尿病センター長 にしもり えいた 西森 栄太	平成17年	糖尿病 一般内科 プライマリ・ケア	日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・指導医 日本医師会認定産業医
 内科医長 おばた けいた 小幡 景太	平成21年	総合内科 循環器	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会会員
 内科医長 せき しんや 関 慎也	平成23年	リウマチ膠原病	日本内科学会総合内科専門医 日本リウマチ学会専門医・指導医
 救急医療部副部長 (兼)内科医長 糖尿病副センター長 おした ゆうき 尾下 雄紀	平成27年	一般内科 糖尿病 内分泌	日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病協会認定医

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

氏名	卒業年度	専門	資格等
----	------	----	-----

【嘱託医師】

 わだ まさのり 和田 正紀	昭和44年	一般内科	
 にしやま おさむ 西山 修	昭和49年	循環器	日本循環器学会専門医 日本内科学会内科認定医 医学博士
 よこうち ひろよし 横内 裕佳	昭和49年	一般内科	日本内科学会会員 診療所担当 医学博士 臨床検査科医師
 なか もとじ 仲 元司	昭和58年	循環器 糖尿病	日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本内科学会総合内科専門医 長野県糖尿病協会会長 東北信地域糖尿病療養指導士育成会会長
 なかじょう かおるこ 中條 薫子	令和2年	一般内科	

【非常勤医師】

なかじま かずお 中島 一夫 神経内科	むらた ひでゆき 村田 秀行 一般内科
たかはし まさよし 高橋 政義 一般内科 消化器内科	ひぐち よう 樋口 陽 神経内科
くらし たかふみ 倉石 貴文 内分泌内科	たかはし ひでかず 高橋 秀和 呼吸器内科
きたおか ようこ 喜多岡 陽子 一般内科 糖尿病	

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

診療体制

	月	火	水	木	金
一般内科 (予約制)	村田 秀行	西山 修	高橋 政義 (一般・消化器)	西山 修	西山 修
	尾下 雄紀	西森 栄太	小幡 景太	喜多岡 陽子	樋口 陽 (第3金曜日(変則))
		喜多岡 陽子		中島 一夫	小幡 景太
スマート外来 (予約のみ)		尾形 哲		西森 栄太 (13:00~)	
専門外来 (予約のみ)	呼吸器内科 (午前)	呼吸器内科 (午後)	高濱 充貴 (午後) (隔週(2・4)不定期)	内分泌内科 (14:00~)	呼吸器内科 (午後)
	睡眠時無呼吸外来 (午後)				
	関 慎也(午前) (膠原病内科)	関 慎也(午前) (膠原病内科)	関 慎也(午前) (膠原病内科)	関 慎也(午前・午後) (膠原病内科)	

専門外来で扱う主たる疾患と特殊検査・治療

呼吸器内科

肺炎、胸膜炎、気管支喘息、肺気腫、慢性気管支炎、肺癌など



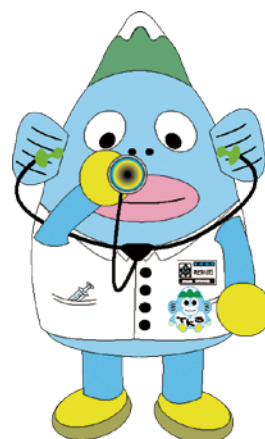
らせんCT 検査、気管支内視鏡、在宅酸素療法、在宅呼吸器療法など

内分泌内科

甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、下垂体疾患など

リウマチ膠原病内科

関節リウマチ、膠原病（全身性エリテマトーデス、強皮症、血管炎など）



循環器内科

【じゅんかんきないか】



Cardiology

■カテーテル治療を中心に循環器疾患全般の診療を行います

2020年4月より、循環器内科診療が本格的に開始となりました。

部長の篠崎は、浅間総合病院で生まれ、高校卒業まで佐久市で育ちました。

医師となって内科研修後は、心臓の冠動脈をはじめ、下肢動脈、頸動脈、鎖骨下動脈、腎動脈などの末梢動脈を、カテーテルという細い管で拡張するカテーテル治療（インターベンション治療）を専門に、大勢の患者さんの治療を行うとともに、多くの学会発表や論文発表を行ってきました。


特に、下肢動脈に対するカテーテル治療を、手首の橈骨動脈から行う低侵襲治療においては、世界に先駆けて行い、臨床研究を進めるとともに、それらにかかわる医療器具の開発を行ってきました。

今後は、それらのカテーテル治療を通して、佐久地域の患者さんの心臓や血管の病気の治療を行うとともに、心不全、弁膜症、不整脈などの一般的な循環器疾患の診療も行っていきたいと思っております。

2021年度は、77件の冠動脈カテーテル治療（うち24件は緊急症例）、25件の末梢動脈へのカテーテル治療、10件のペースメーカー留置術を行いました。

心臓や血管のことで、何かお悩みのことがありましたら、いつでも循環器内科を受診下さい。緊急治療にも対応しております。

内科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 <p>循環器内科部長 しのざき のりひこ 篠崎 法彦</p>	平成8年	冠動脈カテーテル治療、 下肢動脈カテーテル治療、 頸動脈ステント留置術、 腎動脈ステント留置術など のカテーテル治療を中心 とした循環器医療全般	医学博士 日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 日本心臓リハビリテーション学会認定指導士

循環器内科で行う検査・治療

当科では、心臓カテーテル検査、冠動脈カテーテル治療、末梢動脈カテーテル検査・治療、経胸壁・経食道心臓エコー検査、末梢動脈エコー検査、ホルター心電図、トレッドミル検査、各種R1検査、ABI、ペースメーカー植え込み術、経皮的僧帽弁形成術、経皮的中隔心筋焼灼術などを行うことが可能です。

特に、狭心症、心筋梗塞などの冠動脈疾患、下肢動脈、頸動脈、鎖骨下動脈、腎動脈などの末梢動脈疾患を専門にしており、それらに対しては、生理検査、放射線検査などでの確かな診断を行い、必要な場合には、カテーテル治療を行っております。緊急治療にも対応しております。

また、心不全、弁膜症、不整脈、心筋症、肺血栓塞栓症など、他の循環器疾患に対しては、診断、内科的治療、ペースメーカー植え込み術などを行っています。

診療体制

	月	火	水	木	金
午前外来	篠崎 法彦	篠崎 法彦	篠崎 法彦	篠崎 法彦	篠崎 法彦
午後	カテーテル 検査・治療	カテーテル 検査・治療	カテーテル 検査・治療	カテーテル 検査・治療	カテーテル 検査・治療

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

【とくしゅがいらい】 特殊外来



Specialty Outpatient Clinic


禁煙 外来

■ やめられないのは意志が弱いからではありません

自力では禁煙困難なニコチン依存症の患者様に対し、禁煙補助薬を用いて無理なく禁煙実現をサポートします。見事禁煙達成時には修了証を発行いたします。

※現在、治療薬の出荷停止の為中止しております。薬剤の流通状況により再開いたします。

禁煙外来医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 内科部長 (総合診療) たかはま みき 高濱 充貴	平成8年	総合内科	日本内科学会総合内科専門医 麻酔科標榜医 マンモグラフィ読影認定医 乳腺超音波読影認定医 人間ドック学会認定医 日本登山医学会認定国際山岳医

睡眠時 無呼吸外来

■ 診断から治療まで充実したサポートをします

睡眠中の呼吸停止や大きないびき、昼間の強い眠気などを主症状とする睡眠時無呼吸症候群は、近年、糖尿病・高血圧・心臓病・うつ病などと強い関連性が指摘され、睡眠時無呼吸症候群を治療することで、それらの心配が軽減することが分かってきました。

この外来では、精密検査である終夜睡眠ポリグラフ（入院検査）を実施し、日本睡眠学会の認定技師が睡眠時無呼吸症候群を正しく診断します。

また、内科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・臨床検査科が連携して、内科的治療であるCPAP（シーパップ）治療や外科的治療、口腔内装置の作成など、患者様に最も適した治療法を選択していただき、よりよい睡眠と健康を得るためのサポートをいたします。

睡眠時無呼吸外来医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 手術部長(兼) 耳鼻咽喉科部長 ほそかわ あきら 細川 晃	平成5年	耳鼻咽喉科 一般 平衡・画像・聴覚分野	日本耳鼻咽喉科学会専門医 医学博士 耳鼻咽喉科臨床研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医
 歯科口腔外科部長 (特殊歯科) おおつか さとし 大塚 聡	平成8年	歯科口腔外科 一般 高齢者歯科 障害者歯科	歯科医師臨床研修指導医 長野県歯科医師会認定警察歯科医

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科


呼吸器科

整形外科

氏名	卒業年度	専門	資格等
 内科部長 (総合診療) たかはま みき 高濱 充貴	平成8年	総合内科	日本内科学会総合内科専門医麻酔科標榜医 マンモグラフィ読影認定医 乳腺超音波読影認定医 人間ドック学会認定医 日本登山医学会認定国際山岳医
 内科医長 おばた けいた 小幡 景太	平成21年	総合内科 循環器	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会会員
 嘱託医師 おくやま ひでき 奥山 秀樹	昭和57年	歯科口腔外科 一般 高齢者歯科 障害者歯科	日本老年歯科医学会評議員・ 指導医・専門医・認定医 日本口腔外科学会会員 日本有病者歯科医療学会会員 歯科医師臨床研修指導歯科医 日本臨床栄養代謝学会学術評議員・認定歯科医 全自病・国診協地域包括医療ケア認定医 長野県障害者歯科相談医

※睡眠時無呼吸外来内科担当医は輪番制となります。

担当スタッフ

 もりもと みつとし 森本 光俊	平成16年	臨床検査科	日本睡眠学会 睡眠医療認定検査技師
--	-------	-------	----------------------

診療体制

毎週月曜日、午後からです。
完全予約制ですので、地域医療室へご相談ください。 ※ p9 参照

スマート外来




Smart

■食事の力で生活習慣病の予防・治療を行います

スマート外来では肥満が原因の脂肪肝や（境界型）糖尿病などを有する方を対象に、科学的根拠に基づく食事療法および生活指導で減量をサポートして健康障害の予防・改善を行っています。通院中に体重管理の知識を得ていただき、将来的には自身で体重をコントロールができるようになってもらうことを目的としています。また、より効果的な体重管理サポートを探るための臨床研究も積極的に行い、診療に活かしています。

スマート外来医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 救急医療部長(兼)外科部長 (肝・胆・膵) おがた さとし 尾形 哲	平成7年	消化器外科 (肝・胆・膵) 肝移植	日本消化器外科学会専門医指導医 日本消化器外科学会がん外科治療認定医 日本外科学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本医師会認定産業医
 地域医療部長(兼)内科部長(糖尿病内科) 糖尿病センター長 にしもり えいた 西森 栄太	平成17年	糖尿病 一般内科 プライマリ・ケア	日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・指導医 日本医師会認定産業医

担当スタッフ 栄養科 管理栄養士

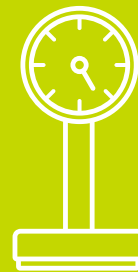
診療体制（予約制）

	月	火	水	木	金
担当医師		尾形 哲		西森 栄太 (13:00~)	



糖尿病内科

【とうによびょうないか】



Diabetes Mellitus Care

■佐久平地域から糖尿病で苦しむ患者さんを出さないために

原則糖尿病の方だけの専門外来ですがが合併されている高血圧・脂質異常症・メタボリックシンドローム・循環器疾患・内分泌疾患などの診療も行っています。

初代院長（名誉院長）故吉澤國雄先生が昭和35年（1960年）に糖尿病外来を創設されて以来実に62年の歴史があり、その間おもに信州大学内分泌・代謝グループの協力で発展してきました。

当院は日本糖尿病学会認定教育施設として病院内の仕事のみならず、つねに東信地区の糖尿病予防・診療の先頭に立って医師・医療スタッフ・患者様のネットワークの中心であり続けています。

外来は月曜日・火曜日・水曜日・木曜日・金曜日予約制。看護師をはじめ医療スタッフによる療養指導も行っています。

糖尿病内科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
【常勤医師】			
 <p>地域医療部長(兼) 内科部長(糖尿病内科) 糖尿病センター長 にしもり えいた 西森 栄太</p>	平成17年	糖尿病 一般内科 プライマリ・ケア	日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本プライマリ・ケア連合学会 家庭医療専門医・指導医 日本医師会認定産業医
 <p>救急医療部副部長 (兼)内科医長 糖尿病副センター長 おした ゆうき 尾下 雄紀</p>	平成27年	糖尿病 一般内科 内分泌	日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病協会認定医
【嘱託医師】			
 <p>なか もとじ 仲 元司</p>	昭和58年	循環器 糖尿病	日本糖尿病学会専門医・研修指導医 日本内科学会総合内科専門医 長野県糖尿病協会会長 東北信地域糖尿病療養指導士育成会会長

【非常勤医師】

ささき えりこ
佐々木 恵理子 日本糖尿病学会専門医

ますたに ともひで
増谷 朋英 日本糖尿病学会専門医

くぼた みさこ
久保田 美佐子 日本糖尿病学会専門医

きたおか ようこ
喜多岡 陽子 日本糖尿病学会専門医

よだ あつし
依田 淳 日本糖尿病学会専門医

糖尿病患者会としてりんどう会あさま分会があります。糖尿病に関する講演会への参加のほか、世界糖尿病デー記念イベント、マレットゴルフ大会、フランス料理のランチコースでの会食など年間を通して活動しています。

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

診療体制（予約制）

	月	火	水	木	金
担当医師 (予約のみ)	仲 元司	仲 元司	西森 栄太	仲 元司	西森 栄太
	午前 喜多岡 陽子	午前 尾下 雄紀 午後 佐々木 恵理子 (13:00~)	午前 久保田 美佐子 午後 増谷 朋英	午前 依田 淳	午前 尾下 雄紀

医師以外のスタッフとしては14名の日本糖尿病療養指導士（看護師7名、管理栄養士5名、薬剤師2名、臨床検査技師2名）、東北信地域糖尿病療養指導士38名をはじめ病棟・外来の看護師、地域医療室職員、医療相談員などが関わりを持ちます。

糖尿病療養指導外来

- ・透析予防指導（看護師・管理栄養士）
- ・療養指導支援 ・フットケア ・栄養指導相談 ・薬物指導支援
- ・検査、機器説明（持続血糖モニタリングシステム導入など）



フットケア



待ち合い室での糖尿病学習

診療実績

昨年1年間の延べ患者数は、糖尿病外来で15,549人（実人数2,375人）、糖尿病としての入院は60人前後（年）、新患数は月5.08人です。うちインスリン使用中の患者は43.6%を占めています。インスリン導入は原則入院して行いますが、外来導入も積極的に行っています。管理栄養士による糖尿病患者に対する栄養指導は年間約2,400件以上、透析予防指導208件、現在透析に通われている患者は55人です。

糖尿病教室

糖尿病教室は毎月1週間をこれにあて、火曜日から金曜日に下記のようなカリキュラムでももに初回患者さんを対象にしています。

	火	水	木	金
事前学習等	バーチャル糖尿病教室 【糖尿病とは】			バーチャル糖尿病教室 【糖尿病網膜症】 【糖尿病理解度テスト 解説編】
13時	13:00～【オリエンテーション】 【ラジオ体操】 (担当：看護師)	バーチャル糖尿病教室 【運動療法とは】 【糖尿病の薬物治療】 【糖尿病と心臓疾患に ついて】	バーチャル糖尿病教室 【糖尿病の合併症に ついて】 【日常生活の注意点】 【糖尿病の検査】	13:30～ 【糖尿病と眼科の 深い関係】 (担当：視能訓練士)
	13:45～ 【糖尿病とは】 (担当：内科医師)			
14時	14:30～ バーチャル糖尿病教室 【糖尿病の食事療法】 【糖尿病と歯周病】 ※タブレット持参	14:20～ 【ラジオ体操】 【運動療法の実践】 (担当：理学療法士)	14:30～ 【代替医療って知っていますか？】 (担当：内科医師)	14:00～ 【ラジオ体操】 【カンパセーションマップ】 (担当：看護師)
	15:00～ 【糖尿病の食事療法】 (担当：管理栄養士)	15:10～ 【糖尿病に対する こころの整理】 (担当：信濃病院 臨床心理士)	14:50～ 【日常生活の注意点】 (担当：看護師)	15:00～ 【糖尿病治療のまとめ】 【わたしの宣言書】 (担当：内科医師)
16時	16:00～ 【歯周病の予防と治療】 (担当：歯科医師)		15:10～ 【飲み忘れをなくすためには】 (担当：薬剤師)	
			15:30～ 【ラジオ体操】 【検査実技から学ぶ糖尿病】 (担当：検査技師)	
			16:30～ 【糖尿病の合併症について】 (担当：内科医師)	

糖尿病カフェ

3月、6月、9月、12月 第2週木曜日19:00～ 糖尿病センター
お茶を飲みながら糖尿病の勉強や、情報交換の場として年4回行っています。

患者さん同士、また医療スタッフと会話を楽しみながら、糖尿病について語り合う場となっています。(現在一時中止)



地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

Asama DST (浅間総合病院糖尿病サポートチーム)

■ Asama DST チーム構成

	病棟看護師	外来看護師	助産師	管理栄養士	薬剤師	検査技師	合計
CDE-J	7名	3名		4名	3名	2名	19名
L-CDE	13名	4名	9名	7名	2名	3名	40名

■ Asama DST 活動内容

- 1) 毎月最終月曜日の担当者会議・毎月最終木曜日の症例カンファレンス
- 2) 他科に入院中の糖尿病患者へのラウンド (毎週月曜日午後)
医師4名・CDE-Jの資格を持った看護師・管理栄養士・薬剤師・検査技師・感染管理認定看護師、合計6～8名で行っています。
- 3) 療養指導外来・フットケア外来 毎日病棟看護師、外来看護師 (いずれもCDE-Jの有資格者糖尿病重症化予防(フットケア)研修修了者)が行っています。
- 4) SMBGチーム・CSIIチーム
外来にて血糖自己測定の点検・指導を定期的に行っています。月～金または土曜日の5～6日間入院にてCGMSを装着しながらCSIIやSAPの導入とカーボ・カウントの教育を行っています。
- 5) 世界糖尿病デー実行委員会
毎年11月14日の世界糖尿病デーに病院全体のブルー・ライトアップと玄関付近のLEDによる電飾、カウントダウンセレモニー、市民公開講座など劇場型糖尿病教室のイベントを企画・実施しています。
- 6) 透析予防チーム
医師3名、管理栄養士3名、看護師9名で腎機能が低下してきた患者さんに個別の指導を行っています。
- 7) 糖尿病劇団モトジーズ イベントでオリジナルの演目を公演し、患者参加型の糖尿病劇場を行っています。

以上のほかにも日本糖尿病学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本医学検査学会などの全国学会や県内の研究会・研修会で研究発表を積極的に行っています。

また医師会の佐久平糖尿病ネットワーク (SDNet) 定例会や日本糖尿病協会長野支部浅間分会などの患者会活動、東北信糖尿病療養指導士 (L-CDE) 育成会の研修会などでも中心となって活動しています。

また歯科医師会との連携をとり、歯周病と糖尿病に関する取り組みを行っています。

糖尿病医療のパイオニア 初代院長 吉澤國雄先生

吉澤國雄先生はインスリン在宅自己注射の道を開かれたことや長野県糖尿病協会の基礎を築かれたことなど、数多くの業績を残されています。また、健診や保健指導員の組織化等を通じて予防医学の大切さを提唱し、佐久を日本一の長寿地域に押し上げたことも先生の功績の一つです。



2017年4月から糖尿病センターを 始めています

当院は昭和35年に初代院長吉澤國雄先生が県内初の糖尿病専門外来を開設して以来、糖尿病診療に積極的に取り組んで参りました。昨今の糖尿病治療の進歩は著しく、医師のみならず専門的な知識と技術を身に着けた医療スタッフおよびチームが求められる時代です。当院には伝統的に優秀な糖尿病スタッフが揃っており、早くからチーム活動を展開してきました。

2017年4月、そのチームが一層力を発揮できる場としての「糖尿病センター」が誕生しました。長野県の糖尿病医療の拠点として診療、研究、教育それぞれについて今後も県内外に発信していくつもりです。地域の患者さんにとってはこれまで以上に親しみやすく信頼される糖尿病チームをめざします。どうかよろしくお願ひします。

糖尿病医療

「チーム医療と連携」糖尿病ほどその重要性が活かされる分野はありません。当院では糖尿病サポートチーム（DST）の各員が糖尿病医療指導士の資格を持ち、院内の各科に入院中の患者さんへのラウンドや外来でのフットケア、療養指導などに携わっています。また他の病院のスタッフと協力し合って患者会活動や世界糖尿病デーのイベント等を盛り上げています。



糖尿病医療



劇団



週1回モーニングカンファレンス

糖尿病サポートチーム（DST）のメンバー



地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

SDNet 糖尿病連携クリニカルパス

近年の糖尿病患者数の増加は著しく、佐久地域も例外ではありません。各基幹病院での患者数も限界に来ているのが現状であり、一方で脳梗塞、心筋梗塞、腎不全など重症合併症に苦しむ方も多く、今後も増え続けると推測されます。

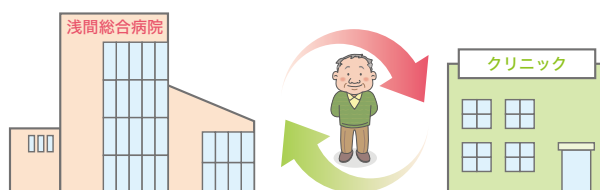
SDNet（佐久平糖尿病ネットワーク）は、2004年に「佐久平地域から糖尿病で苦しむ患者さんを出さない」をスローガンに、病院と診療所の医師の連携を目的として佐久医師会内に発足しました。そして、この活動の一つとして、この地域連携クリニカルパスが誕生しました。

このクリニカルパスは、浅間総合病院、佐久穂町立千曲病院、佐久総合病院、浅間南麓こもる医療センターを基幹病院とし、地域の医療機関（かかりつけ医）との診療連携のために作成しました。ぜひ、糖尿病診療の重要なアイテムとして利用していただきたいと思います。

■連携パス①

比較的コントロール良好な糖尿病の方が、かかりつけ医の先生方と当院を一定の間隔で両方を受診する循環型のパスです。つまり、主治医が2人になると考えていただければ良いかと思います。おもな治療はかかりつけ医の先生にお願いし、病院への受診は6ヶ月に1回といたします。

かかりつけ医の先生から基幹病院へ御紹介いただく場合と、逆に基幹病院からかかりつけ医になる先生を選んで紹介する場合があります。

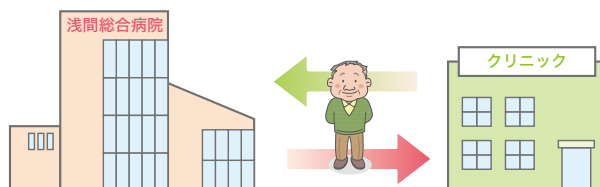


■連携パス②

かかりつけ医の先生からコントロール不良の方をご紹介いただき、基幹病院で治療後、かかりつけ医の先生方へ逆紹介させていただくものです。**教育入院が原則となりますので、入院に同意できる方を対象とさせていただきます。**

また、コントロール不良の目安は「HbA1c 8%以上」としますが、合併症の状態などを考慮し、必要であればご利用ください。

なお、連携パス②の後に、連携パス①を続けて使用する場合も考えられます。



【しんりょうないか】 心療内科



Psychosomatic Medicine

■心の不調や心理的要因による体の不調の治療を行なっています

総合病院の中にあるので、内科や外科などの身体科の医師と連携して治療を進めることも可能です。必要に応じて心理カウンセリングも実施しています。

心療内科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
非常勤医師 おざわ ひろし 小澤 浩	平成4年	精神薬理学	
非常勤医師 まえだ なおき 前田 直樹	平成18年	精神科一般	

診療体制

外来診療のみ、毎週水曜日の午前・午後に行なっています。予約制。非常勤医師2名、臨床心理士1名で対応しています。

診療内容

うつ病、神経症、統合失調症など精神疾患全般および認知症、せん妄による精神症状の診断・治療。
学校・職場のメンタルヘルスに関する相談。

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

外科 【げか】







Surgery

■ 検診から外科治療まで幅広く働いています

当院の外科は、1年365日、1日24時間、佐久の地域医療を担っていると自負しております。胃がん・大腸がん・肝・胆・膵臓がんなどの消化器がんや乳がん、肺がんなどの悪性腫瘍の外科治療、抗がん剤治療、緩和医療が診療の中心ですが、腸閉塞、虫垂炎、そけいヘルニア、自然気胸、下肢静脈瘤などの良性疾患の外科治療も行っています。

昭和38年、県内初の心臓手術を手がけた先取の精神を忘れず、中堅スタッフは、標準的な医療を確実に実践しながら、若いスタッフと共に最新医療技術の導入にも研鑽しています。また、研修医にも指導医クラスが直接指導して明日の日本の医療を担う人材の育成に努めています。

外科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 救急医療部長(兼)外科部長 (肝、胆、膵) おがた さとし 尾形 哲	平成7年	消化器外科 (肝・胆・膵) 肝移植	日本消化器外科学会専門医指導医 日本消化器外科学会がん外科治療認定医 日本外科学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本医師会認定産業医
 手術部副部長(兼)外科医長 とみおか ひろゆき 富岡 寛行	平成8年	消化器外科(大腸) 肛門外科	日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸) 日本大腸肛門病学会指導医・専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本ストーマ排泄リハビリテーション学会ストーマ認定士 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本臨床肛門病学会会員
 外科医長 にしだ しょうじ 西田 祥二	平成10年	消化器外科 一般外科	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会会員 日本臨床外科学会会員 日本内視鏡外科学会会員
 外科医長 まつもと りょうこ 松本 涼子	平成17年	一般外科 乳腺外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本内視鏡外科学会会員 日本消化器外科学会会員 日本癌治療学会会員

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

氏名	卒業年度	専門	資格等
 外科医長 よしやす しゅんすけ 吉安 俊介	平成23年	一般外科 消化器外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会乳腺認定医 日本消化器外科学会会員 日本内視鏡外科学会会員 日本胃癌学会会員
 外科医長 ごとう りょう 後藤 諒	平成28年	一般外科 乳腺外科	日本外科学会専門医 日本乳腺学会
 嘱託医師 とい まこと 都井 眞	昭和55年	一般外科	
 嘱託医師 いけだ まさみ 池田 正視	昭和58年	消化器外科 (胃) 代用胃	日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本胃癌学会代議員・特別会員 「胃癌術後評価を考える」ワーキンググループ発起人 信州大学医学部臨床教授〈医学博士〉
 嘱託医師 しおはら えいいち 塩原 栄一	昭和60年	一般外科 消化器外科 (肝・胆・膵)	日本外科学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓病学会専門医

診療体制

	月	火	水	木	金
担当医師	吉安 俊介	池田 正視 (予約のみ)	富岡 寛行	都井 眞	富岡 寛行
	西田 祥二	吉安 俊介	尾形 哲	塩原 栄一	松本 涼子
	後藤 諒	松本 涼子	後藤 諒	西田 祥二	尾形 哲
		塩原 栄一		後藤 諒	池田 正視 (予約のみ)
	箕輪 隆 (血管外来)				箕輪 隆 (血管外来) 13:00~15:00

診療内容

■消化管外科

胃がん・大腸がんに対する手術および抗がん剤による治療が中心です。症例に応じて、腹腔鏡下手術も施行しています。大腸がんに対する腹腔鏡手術は、昨年8月より本格的導入となりました。日本内視鏡外科学会認定の技術認定医が担当し、導入後の腹腔鏡手術の比率は86%となっております。腸閉塞や腹膜炎、虫垂炎などの緊急手術も数多く行っています。鼠径ヘルニアに対しては従来法の手術のほか腹腔鏡手術も実施しております。消化器疾患の薬剤治療（ピロリ菌の除菌など）や、胃・大腸のポリープの内視鏡下治療も行っています。

胃がんなどで胃を大きく切った際には、なくなってしまった胃の代わりに小腸で胃を作る代用胃（パウチ）間置術という手術も行っています。代用胃を作製することで通常の手術に比べて、胃切除後の困った症状（胃切除後症候群）は少なくなり、手術前とあまり変わらない日常生活が送れるようになります。

■肛門外科

肛門疾患に対する外科治療も行っております。痔核に対しては切除+ALTA併用療法を基本に、ALTA単独療法（切らない治療）など個々の症例に応じた治療が可能です。

■肝・胆・膵外科

肝臓がん、胆管がん、胆嚢がん、膵臓がんの進行程度に応じて標準的手術あるいは標準的な化学療法を実践しています。

胆石症に対しては患者様の術後回復の早い腹腔鏡手術を実践しています。総胆管結石に対する内視鏡治療も行っています。

■乳腺外科

乳がんの診断、および手術・化学療法による治療を主に行っています。診療面では、近隣の診療所の乳腺外科専門医と連携して、質の向上にも努めています。また、日本乳腺学会関連施設に認定されています。



診療実績 2022年 外科手術統計

総手術件数	288
緊急	60
待機	228
うち全身麻酔	288

手術疾患名	R4
乳がん	33
肺がん	10
自然気胸	4
胃がん	8
胆管がん	3
胆石・総胆管結石	36
肝がん	11
膵臓がん	5
大腸がん（腹腔鏡手術）	16 (11)
盲腸	0 (0)
結腸	15 (11)
直腸	1 (0)
人工肛門	4 (0)

手術疾患名	R4
腹膜炎	9
腸閉塞	5
虫垂炎（腹腔鏡手術）	31 (21)
鼠径ヘルニア（腹腔鏡手術）	50 (19)
下肢静脈瘤	16
閉塞性動脈硬化症	2
痔核	14
仙骨神経刺激療法	1
その他	34

※（ ）内は腹腔鏡手術

2022年1月1日～12月31日 外科 輸血用血液製剤使用統計

製剤名	本数
照射赤血球液-2U	111
新鮮凍結血漿240	14
新鮮凍結血漿480	18
照射血小板液-10U	3

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

【けっかんげか】 血管外科




Vascular Surgery

■血管外科では動脈・静脈の手術治療・術後管理を行います

急性の下肢血流障害への24時間救急対応を行っています。
慢性の下肢痛に多い閉塞性動脈硬化症のバイパス手術は循環器科のカテーテル治療と組み合わせて患者様の症状改善と早期社会復帰を目指した治療を行っています。
「美脚の町、佐久」を目指して、女性に多い下肢静脈瘤の治療や急性・慢性の下腿のむくみの療法を行っています。

血管外科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 佐久市病院事業管理者 院長 みのわ たかし 箕輪 隆	昭和59年	血管外科 呼吸器外科	日本脈管学会専門医 日本外科学会専門医 麻酔科標榜医 ICD 日本医師会認定産業医

診療体制

	月	火	水	木	金
午前	外来	手術		手術	
午後	検査		検査		外来

診療内容

■血管外科

胸郭出口症候群、腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術、急性動脈血栓塞栓症に対する血栓除去術、下肢閉塞性動脈病変に対する人工血管または自家静脈バイパス手術、下肢静脈瘤に対してはストリッピング・硬化療法を第一選択として治療しています。不全穿通枝による静脈うっ滞性潰瘍に対しては内視鏡を使ったSEPS手術を県内に先がけて行っていました。

深部静脈血栓症に対する一時的下大静脈フィルター留置血栓溶解療法などを行っています。
乳癌・子宮癌・術後の四肢のリンパ浮腫に対する複合理学療法と日常生活指導も行っています。

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

呼吸器科

【こきゅうきか】




Respiratory Medicine

体の上半身を占める胸郭、その中で呼吸器は、肺・縦隔・胸壁と多くの部分を占める領域です。さらに肺を中心とする呼吸器疾患は感染症、癌、閉塞性肺疾患（COPD）、瀰漫性肺疾患、アレルギー・免疫・炎症疾患、肺循環・肺損傷、肺機能、呼吸管理、縦隔腫瘍、胸膜炎・膿胸等、極めて多岐に分かれており、現在ではそれぞれの分野にハイレベルな専門医がいる状況です。

浅間病院呼吸器科ではそれらのスクリーニングと中等度レベルまでの治療を行えるよう診療体制を整えており、必要であれば佐久医療センター、信大病院、相沢病院、長野赤十字病院、東大病院、国立病院機構東京病院等へ患者さんを紹介しています。また近隣の医師との病診、病病連携も整っています。当面1人体制ですが、呼吸器系の病状や異常があればぜひ受診をしてください。

呼吸器科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 <p>嘱託医師 なかじま ゆつき 中島 由槻</p>	昭和47年	呼吸器科 呼吸器外科	日本外科学会専門医・指導医 日本胸部外科学会指導医 日本呼吸器学外科学・指導医 日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医 日本結核病学会指導医 日本医師会認定産業医 麻酔科標榜医

診療体制

	月	火	水	木	金
担当医師		中島 由槻 (呼吸器内科外来) 午後予約		中島 由槻 (呼吸器外科外来) 午後予約	中島 由槻 (呼吸器外科外来) 午前予約 午後内科外来 (午後予約)

診療内容

呼吸器疾患全般、呼吸器外科疾患全般。肺癌に対しては診断、手術・抗がん剤等放射線照射以外（佐久医療センターへ依頼）の治療、感染症に対しては喀痰等の培養検査や一般的な抗菌治療、さらに結核、非結核性抗酸菌症、真菌症等の診断治療、その他COPDの診断治療と管理、喘息の診断治療と管理、瀰漫性肺疾患の診断治療、気胸の治療等、診療内容は多岐にわたっています。さらに検診らせんCTの読影、肺癌・肺結核検診の精査も行っています。なお呼吸器の手術に際しては胸腔鏡も使用しています。1人体制ゆえ十分な診療体制が確立しているとは言えませんが、可能な限り患者さんのご要望に応えるべく努力をしていきますので、よろしくお願ひします。

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

整形外科

【せいけいげか】



Orthopedic Surgery

■加齢による疾患（骨粗鬆症、変形性関節症、脊椎疾患など）と外傷治療（骨折・脱臼など）に力を入れています

当科では、骨・関節・筋腱・靭帯・脊椎・脊髄・末梢神経など、主に運動器の疾患と外傷を扱っています。

整形外科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 <p>名誉院長 むらしま りゅうたろう 村島 隆太郎</p>	昭和57年	末梢神経疾患 手の外科 スポーツ外傷・障害	日本整形外科学会専門医
 <p>診療部長 整形外科部長(兼) 医療安全管理室長 つのだ としはる 角田 俊治</p>	平成12年	整形外科一般 股関節外科 外傷外科	日本整形外科学会専門医 日本股関節学会会員 日本人工関節学会認定医
 <p>整形外科部長 (脊椎外科) ありよし だい 有吉 大</p>	平成16年	整形外科 脊椎外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医 日本整形外科学会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定医
 <p>整形外科医長 なかむら ひろし 中村 洋</p>	平成19年	整形外科 脊椎外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医 日本整形外科学会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定医
 <p>整形外科医長 きたおか りょうた 喜多岡 亮太</p>	平成26年	股関節外科 小児整形	日本整形外科学会専門医
 <p>整形外科医長 よねだ まさひろ 米田 昌広</p>	平成27年	整形外科一般	日本整形外科学会専門医
 <p>整形外科医師 せんが かずのり 千賀 一功</p>	令和1年	整形外科一般	日本整形外科学会会員
 <p>整形外科医師 いわみ こうへい 石見 航平</p>	令和2年	整形外科一般	日本整形外科学会会員

地域医療部

内科

循環器内科

特殊外来

スマート外来

糖尿病内科

心療内科

外科

血管外科

呼吸器科

整形外科

氏名	卒業年度	専門	資格等
 整形外科医師 ふじむら あやか 藤村 綾夏	令和3年	整形外科一般	日本整形外科学会会員
非常勤医師 うめむら もとこ 梅村 元子	昭和63年	整形外科一般	日本整形外科学会専門医
非常勤医師 いわなが やすひで 岩永 康秀	平成20年	手外科	日本整形外科学会専門医
非常勤医師 はしづめ たかのり 橋爪 孝典	平成26年	整形外科一般 骨粗鬆症	日本整形外科学会専門医
非常勤医師 さいた まゆ 税田 真由	平成30年	整形外科一般	日本整形外科学会会員

診療体制

	月	火	水	木	金
担当医師 (予約のみ)	予約初診 再診 (交替制)	村島 隆太郎 石見 航平 伊藤 順一 (第2週午前、小児整形・膝) 喜多岡 亮太 (第4週午後、小児整形)	予約初診 角田 俊治 米田 昌広 喜多岡 亮太	予約初診 千賀 一功	予約初診 角田 俊治 橋爪 孝典 (月1回不定期、骨粗鬆症) 柴山 一洋 (第2、4週、肩外来)
脊椎外科 (予約のみ)	中村 洋			有吉 大	有吉 大 中村 洋

診療内容

■骨粗鬆症

食事・運動指導や薬物治療を行い、骨粗鬆症が原因でおこりやすくなる骨折を予防します。薬物治療にはカルシウム・ビタミン剤、ビスホスホネート剤、ホルモン製剤などを症例に合わせて使い分けます。更年期・閉経後骨粗鬆症に対するホルモン補充療法にも力を入れ、単に骨量を増やすだけでなく、全人的な生活の改善をめざします。

■変形性関節症

生活指導、薬物治療、リハビリ、関節内注射などの保存療法を積極的に行い、重症例に対しては外科的治療を行います。特に股関節や膝関節に対する人工関節置換術は30年以上の実績があり、症例は1,000例を超えています。また、術後長期例で人工関節が弛んだり、破損した症例に対する再置換術も行っています。

■外傷

緊急手術を要する開放骨折などの治療が行えるよう、24時間体制で対応できるようにしています。高齢者の大腿骨頸部骨折などに対しては、できるだけ早く手術を行い、早期に離床することで、寝たきり予防に努めています。また、四肢骨折、脊椎骨折に対する外科的治療にも力を入れており、患者様の早期機能回復、生活の質向上をめざします。

■脊椎疾患

頸椎性脊髄症、腰部脊柱管狭窄症、胸椎・腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症など、脊椎疾患全般の診療を行っています。生活指導、薬物治療、各種神経ブロックなどの保存療法を徹底的に行います。痛みや歩行障害、筋力低下などが顕著な場合には外科的治療を行います。手術方法は個々の状況に応じて椎弓形成・切除術から除圧固定術まで行っています。

近年、スタンダード治療となっている脊椎内視鏡下治療（内視鏡下椎弓切除術・内視鏡下椎間板摘出術）・低侵襲脊椎除圧固定術についても積極的に行っています。従来より傷口が小さく、筋肉などの組織侵襲が少ないことにより、術後の痛みが少ない、入院期間が短い、社会復帰が早いなどのメリットがあります。

■上肢の外科

外傷：肩・肘・手・手指の新鮮骨折に対する治療。肩の腱板断裂や肩反復性脱臼などの軟部組織損傷。舟状骨などの偽関節手術、その他手指の腱損傷や指の切断などの治療を行っています。

変性疾患：手根管症候群・肘部管症候群・テニス肘・ドケルバン病・ばね指・母指CM関節症、変形性肩・肘・手関節症など。まずは注射治療やリハビリテーションなどの保存治療を行い、改善が見られない場合には手術治療を勧めています。母指CM関節症に対する関節形成術（関節機能を温存する手術治療）も行っていきます。

その他：dupuytren拘縮、キーンバック病、神経麻痺に対する再建術、手の化膿性疾患や腫瘍なども治療対象としていきます。

■変形関節症に対する再生医療（APS療法）

当院では、PRP療法の一つであるAPS療法を行います。

APSとは、患者様から採取した血液を濃縮・抽出したPRP※：血小板血漿を、更に遠心分離・特殊加工することによって、成長因子を含む血小板だけでなく、炎症を抑える働きをするたんぱく質を高濃度に抽出精製したもので、変形性関節症による関節痛や炎症の軽減、軟骨の変形や破壊を抑制する効果が期待できます。

このAPSを患部の関節内に（対象：変形性関節症）注射する治療法がAPS療法です。

APS作製は、医療機器として治療に使用すること（安全性）が厚生労働省より認められたAPSキット（医療機器）を使用します。

患者様ご自身の血液を使用するため、免疫反応の可能性は極めて低いと考えられます。また、採血と注射のみで終わるため、患者様の体への負担も少なく済みます。

一般的に、1週間～4週間ほどで組織の修復が起り始め、治療後2週間～3ヶ月までには効果が期待できるとされています。

また、海外の治療報告ではAPSを1回注射すると、最大で24ヶ月の間、改善効果が続くとの報告がされています。

ただし、治療効果や効果の持続期間については、患者様ご自身の血液を使用するために、その時の体調や年齢などの条件に左右される場合があり、個人差があることをあらかじめご了承ください。

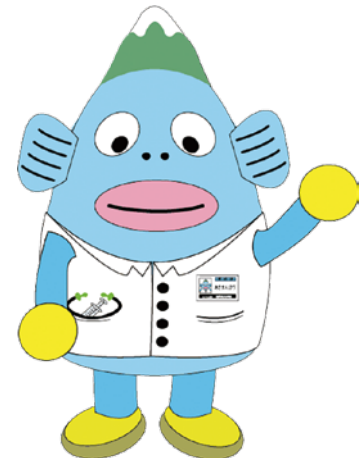
※PRP（Platelet-Rich Plasma：多血小板血漿）とは

PRPとは、血液の中にある傷を治す働きを持つ「血小板」を、高濃度に凝縮し活性化させたものです。

PRPには、活性の高い成長因子が多く含まれていて、「組織の修復が早まる」「治りにくい組織が修復される」などの治療効果が期待されます。

診療実績 2022年度

外来新患数	2,724	手外科	119
手術件数	919	大腿骨近位部骨折	127
主な手術			
人工関節	212		
股 128 膝 84（うち半置換 10）			
脊椎	268		
うち内視鏡手術 83			



脳神経外科

【のうしんけいげか】

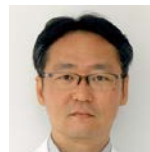


Neurosurgery

■幅広い診療をこころがけます。

開頭手術と血管内治療（カテーテル治療）の両方をおこなっています。
片頭痛などの一次性頭痛やもの忘れ・認知症にも対応いたします。

脳神経外科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 脳神経外科部長 いしかわ おさむ 石川 治	平成13年	脳神経外科全般 脳血管内治療	日本脳神経学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医 日本脳卒中学会専門医・指導医 医学博士

診療体制

	月	火	水	木	金
午前	外来 (9:00~11:30)		手術	外来 (9:00~11:30)	外来 (9:00~11:30)
午後	検査	検査 脳ドック	手術	検査 脳ドック	手術

※時間外の場合も緊急度に応じて可能な限り対応いたします。

診療内容

※以下の疾患の内科的治療や手術加療に対応しております。

一 脳卒中

脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、など

一 脳卒中の予防

未破裂脳動脈瘤、頸動脈狭窄症、硬膜動静脈瘻、脳動静脈奇形、など

一 頭部外傷

急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫、脳挫傷、など

一 脳腫瘍

髄膜腫、神経鞘腫、神経膠腫、転移性脳腫瘍、など

一 三叉神経痛

一 片側顔面けいれん（ボトックス治療も行っています）

一 正常圧水頭症（特発性正常圧水頭症（iNPH））

一 脳脊髄液漏出症（減少症）、低髄液圧症候群（ブラッドパッチも行っています）

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

－頭痛

片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛、後頭神経痛、その他の頭痛

－もの忘れ

もの忘れ、軽度認知機能障害、各種認知症

－脳ドック

脳MRIや頸動脈エコー、認知機能テスト、認知機能低下予測スコア、ドライブシミュレーター評価など

－自動車運転評価

認知機能テスト、ドライブシミュレーター評価、公安委員会診断書の作成

連携している施設： 東京大学医学部附属病院、虎の門病院、佐久総合病院、佐久総合医療センター、相澤病院、信州大学医学部附属病院、埼玉医大総合医療センター、など。

診療実績

疾患名	手術
未破裂脳動脈瘤 くも膜下出血	開頭動脈瘤ネッククリッピング術 脳動脈瘤コイル塞栓術（血管内治療）
脳腫瘍（良性脳腫瘍、悪性脳腫瘍）	開頭腫瘍摘出術
脳梗塞 頸動脈狭窄症	頸動脈ステント留置術CAS（血管内治療） 頸動脈内膜剥離術
顔面痙攣 三叉神経痛	後頭下開頭微小血管減圧術 ボトックス治療
硬膜動静脈瘻	硬膜動静脈瘻塞栓術（血管内治療）
正常圧水頭症	腰椎・腹腔短絡術（LPシャント） 脳室・腹腔短絡術（VPシャント） 脳室・心房短絡術（VAシャント）
脳脊髄液漏出症 低髄液圧症候群	ブラッドパッチ（硬膜外自家血注入療法）
急性期脳梗塞 主幹動脈閉塞症	血栓回収術（血管内治療）
脳梗塞 主幹動脈狭窄症	経皮的血管形成術PTA（血管内治療）
脳梗塞 脳浮腫	減圧開頭術
脳内出血	開頭血種除去術
脳動静脈奇形（AVM）	脳動静脈奇形摘出術
急性硬膜下血腫	開頭血種除去術
慢性硬膜下血腫	穿頭血腫ドレナージ術

産婦人科

【さんぶじんか】



Obstetrics and Gynecology

■ 専門分野に限らず、他の診療科への受診の必要性も含め、総合的に診療します
産婦人科全般に対応します。
小児科の協力のもと、安心して分娩していただけるよう心がけています。

産婦人科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 診療部統括副部長(兼) 産婦人科部長 (産科) あおき たかひろ 青木 敬宏	平成12年	不妊・内分泌	日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医 臨床研修指導医
 産婦人科医長 やなぎさわ まなみ 柳澤 愛実	平成25年	産婦人科一般	日本産科婦人科学会専門医 産業医
 産婦人科医長 かまた ひろゆき 鎌田 広之	平成27年	産婦人科一般	日本産科婦人科学会専門医 母体保護法指定医
 産婦人科医師 しげかわ かずゆき 重川 和之	令和2年	産婦人科一般	日本産科婦人科学会
 嘱託医師 おおた ゆうじろう 太田 雄治郎	昭和60年	婦人科腫瘍	日本産科婦人科学会専門医 日本婦人腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 診療情報管理士 母体保護法指定医
 非常勤医師 かない たかお 金井 孝夫	平成8年	不育症	日本産科婦人科学会専門医 日本周産期新生児医学会新生児蘇生法インストラクター 産業医 日本体育協会スポーツドクター 日本産婦人科乳腺医学会認定医
 非常勤医師 はやし たかし 林 崇	平成12年	不妊・内分泌	日本産婦人科学会専門医
 非常勤医師 いちのせ たかゆき 一瀬 隆行	平成20年	婦人科腫瘍	日本産科婦人科学会専門医 日本婦人腫瘍学会婦人科腫瘍専門医

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

氏名	卒業年度	専門	資格等
 非常勤医師 てらしま つよし 寺島 豪志	平成29年	産婦人科一般	日本産科婦人科学会

【非常勤医師】 わたなべ しょういち 渡辺 昇一 むらやま よしひこ 村山 敬彦 すぎさき そういち 杉崎 聰一

診療体制

	月	火	水	木	金
婦人科外来	青木 敬宏 鎌田 広之 重川 和之	太田 雄治郎 青木 敬宏 寺島 豪志	太田 雄治郎 一瀬 隆行 柳澤 愛実	鎌田 広之 重川 和之	青木 敬宏 柳澤 愛実 金井 孝夫
産科外来	太田 雄治郎	重川 和之 柳澤 愛実	鎌田 広之 重川 和之	青木 敬宏 林 崇	鎌田 広之
コウノトリ外来 (予約のみ)	産婦人科医師 (午前・午後)	産婦人科医師 (午前) 不妊カウンセリング (午後)	産婦人科医師 (午前・午後)	産婦人科医師 (午前) 不妊カウンセリング (午後)	産婦人科医師 (午前・午後)
病棟	柳澤 愛実	鎌田 広之	青木 敬宏	太田 雄治郎	重川 和之
助産師外来		助産師 (午後)		助産師 (午後)	

診療内容

産婦人科常勤医師5名と非常勤医師7名、助産師25名、看護師8名が担当します。病棟は女性と小児の混合病棟となっています。24時間産婦人科医師が対応できる体制です。月曜日から金曜日までの午前の婦人科外来産科外来のほかに、月、水、金の午後のコウノトリ外来と火曜日と木曜日は助産師外来を開いています。

当院の産婦人科では、中等度のリスクまでの分娩、妊婦健診、良性悪性疾患の手術及び化学療法（抗がん剤治療）を含む婦人科診療、不妊治療等を行っています。

妊婦健診では毎回超音波検査を行います。以前から助産師外来を取り入れており、日頃分娩を扱っている病棟助産師とのコミュニケーションの場となっております。気軽に質問等して頂ければ幸いです。

当院では正常分娩は原則として助産師が担当します。

アロママッサージを取り入れたたり、おっぱい学級を開催するなど、分娩前後の入院生活を、より快適に過ごせるよう心掛けています。

双胎、骨盤位（逆子）と帝王切開の既往のある方は、予定帝王切開としています。

原則10日間の入院となります。

骨盤位の方には希望により妊娠35週以降に外回転術を行います。

小児科常勤医師と非常勤医師の協力により、早産児（原則35週以降）低出生体重児の管理にも対応いたします。

治療実績

治療実績	2021年	2022年
分娩数	474件	448件
(以下 分娩数 うち数)		
(帝王切開術)	45件	77件
(帝王切開率)	14%	17%
手術件数	203件	237件
(以下 手術件数 うち数)		
開腹術(帝王切開術除く)	45件	38件
帝王切開術	67件	77件
腹腔鏡手術(TLH)	23件	33件
腹腔鏡下子宮摘出術(TLH)	3件	3件
膣式手術	17件	32件
(上記膣式手術のうち子宮脱手術)	(12件)	(16件)
子宮頸部円錐切除術	23件	27件
子宮鏡手術	17件	12件
悪性腫瘍手術	8件	15件

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科
口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部



■佐久市眼科診療の中心に立ち続けます

「天道に則り、自然の摂理に順う」という精神で、人間としての尊厳を守ることが私たちの理念です。浅間病院の眼科では診療の基本方針として、安全で根拠に基づく良質な医療を提供するよう心がけております。

一般的な病気（赤い、かゆい、しぶい、かわく、なみだ目…）やメガネ処方、コンタクトレンズはもちろんのこと、子どもの病気（斜視、弱視…）、生涯治療が必要な病気（緑内障…）、レーザー治療をする病気（糖尿病の眼底出血、動脈硬化の眼底出血…）、手術をする病気（白内障、網膜はくり…）など、地域の中核病院としてできるだけ多くの病気に対応できるよう研鑽を重ねています。

診断が難しい病気や治療が難しい病気は、順天堂大学病院、その他の大学病院等へ紹介することも可能です。

眼科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 副院長(兼) 眼科部長 ささき ひでのり 佐々木 秀憲	平成8年	眼科一般 涙道	日本眼科学会専門医
 眼科医長 あまり ようこ 甘利 葉子	平成17年	眼科一般	日本眼科学会専門医

診療体制

		月	火	水	木	金
午前	一診	佐々木 秀憲	順天堂大学 非常勤講師	佐々木 秀憲	佐々木 秀憲	佐々木 秀憲
	二診	甘利 葉子		甘利 葉子	甘利 葉子	順天堂大学 非常勤講師
午後		予約検査	予約検査	予約検査		予約検査

当院では、めやに・流涙・涙目の原因となる涙道閉塞症の治療として涙道内視鏡を行っております。
また、大人の流涙（涙道閉塞症）だけでなく、先天性涙道閉塞症に対しても内視鏡的治療を行っております。生まれてすぐのお子さんと、涙目や眼脂が続いている方も一度受診することをお勧めします。
さらに、最近では、ドライアイや結膜弛緩症といった涙にかかわる病気全般についても積極的に治療を行っております。特に結膜弛緩症は流涙症状を起こす原因となるため、手術によって症状を改善できる可能性があります。涙についてお困りの方は外来受診をお勧めします。

視能訓練士

眼科領域における国家資格を持つ医療技術者です。
医師の指示のもとに診断、治療に役立たせるための様々な検査を行っています。
当科には6名の視能訓練士が勤務しています。

主な検査内容

- 眼科一般分野の視機能検査
視力（遠方、近方）眼圧、屈折、調節、角膜曲率半径、角膜内皮細胞、角膜形状解析、色覚、眼位、眼球運動、大型弱視鏡、網膜電位図、網膜光干渉断層像、視野（静的量的、動的量的）、中心フリッカー、眼軸測定、ヘスコージメータ、涙液分泌機能、眼底写真撮影、両眼視機能検査、眼鏡処方、コンタクトレンズ処方（コンタクト乱視用可）
- 眼科専門分野の訓練指導
弱視・斜視に対し、両眼視機能の回復するための検査、視機能訓練 など
- 集団視機能検診
眼科ドック、3歳児検診、健康管理科健診業務 など
- ロービジョンリハビリ指導
遮光眼鏡、拡大鏡、拡大読書器 など



【しょうにか】 小児科



Pediatrics

■ 佐久地域小児科医療連携の一翼を担い 主に2次救急患者を中心に診療を行っています

当科では感染症などの急性疾患から神経疾患、腎疾患、内分泌疾患などの慢性疾患や専門的な診療が必要な疾患まで小児疾患全般に対応しています。

高度な治療を必要とする疾患に対しては、信州大学医学部附属病院小児科、県立こども病院および佐久医療センター小児科と緊密に連絡を取り合いながら診療を行なっています。

小児科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
小児科部長(新生児科) あらい たかひろ 新井 隆広	平成15年	小児科一般 新生児	日本小児科学会専門医 臨床研修指導医
診療部参事(兼) 小児科医長 さわい のぶくに 澤井 信邦	昭和63年	小児科一般 血液 アレルギー	日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医 臨床研修指導医
小児科医長 さいとう のぶとも 齋藤 暢知	平成19年	小児科一般 肝・胆・膵 新生児	日本小児科学会専門医・指導医 日本周産期新生児学会専門医
小児科医長 はら たいち 原 太一	平成20年	小児科一般 夜尿症	日本小児科学会専門医 臨床研修指導医
嘱託医師 しげの かつひこ 重野 勝彦	昭和55年	小児科一般	日本小児科学会専門医
非常勤医師 とよだ たえこ 豊田 妙子	平成17年	小児科一般 神経発達症	日本小児科学会専門医
信大医師非常勤医師 かとう さわこ 加藤 沢子	平成14年	小児科一般 消化器	日本小児科学会専門医 日本小児栄養消化器肝臓学会認定医 ピロリ菌感染症認定医

診療体制

	月	火	水	木	金
午前	齋藤 暢知	新井 隆広	交代制	齋藤 暢知	新井 隆広
	加藤 沢子 (信大医師) (第1、3、5週)	原 太一	豊田 妙子	豊田 妙子	原 太一
	澤井 信邦	重野 勝彦	交代制	澤井 信邦	重野 勝彦
午後	予防接種	予約外来	予防接種 予約外来	乳幼児健診 予約外来	予防接種 予約外来

午後の乳児健診、慢性外来、心エコー、脳波、予防接種、発達外来は予約が必要ですので、小児科外来へ電話で予約してください。

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

【しんせいじか】 新生児科



Neonatology

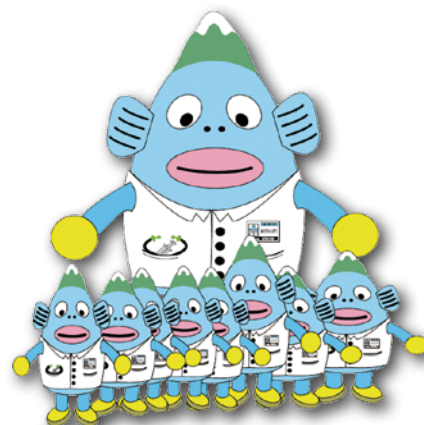
■ 良好な母子関係の確立に重点を置きながら 異常の早期発見、早期介入に努めています

当科では当院で出生した34週以上の新生児を対象に診療を行っています。病的な新生児に対して点滴や呼吸補助療法など、当院で可能な治療を積極的に行う一方、高度医療が必要な重症児の治療介入が遅れないよう、県立こども病院NICUや信州大学附属病院NICUと緊密に連絡を取り合いながら必要に応じて紹介させていただきます。

また、外来にて退院後の予防接種や発達フォローを行っています。発達に遅れがみられる児には、リハビリテーション科と連携して発達促進訓練を取り入れています。里帰り分娩など他院で出生された早産児などの外来フォローも行っています。

新生児科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
小児科部長(新生児科) あらい たかひろ 新井 隆広	平成15年	小児科一般 新生児	日本小児科学会専門医 臨床研修指導医
診療部参事(兼) 小児科医長 さわい のぶくに 澤井 信邦	昭和63年	小児科一般 血液 アレルギー	日本小児科学会専門医 日本アレルギー学会専門医 臨床研修指導医
小児科医長 さいとう のぶとも 齋藤 暢知	平成19年	小児科一般 肝・胆・膵 新生児	日本小児科学会専門医・指導医 日本周産期新生児学会専門医
小児科医長 はら たいち 原 太一	平成20年	小児科一般 夜尿症	日本小児科学会専門医 臨床研修指導医
嘱託医師 しげの かつひこ 重野 勝彦	昭和55年	小児科一般	日本小児科学会専門医



脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

耳鼻咽喉科

【じびいんこうか】





Otorhinolaryngology

■ 専門分野に限らず、他の診療科への受診の必要性も含め、総合的に診療します

診療する部位は、耳、鼻、咽喉頭、頸部・平衡にわたり、外来診療や手術をはじめとした入院治療を行っています。

耳鼻咽喉科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 <p>手術部長(兼) 耳鼻咽喉科部長 ほそかわ あきら 細川 晃</p>	平成5年	耳鼻咽喉科一般 平衡・画像・聴覚分野	日本耳鼻咽喉科学会専門医 医学博士 耳鼻咽喉科臨床研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医
 <p>耳鼻咽喉科医長 よしい りょうた 吉井 良太</p>	平成19年	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科学会専門医

診療体制

	月	火	水	木	金
担当医師	細川 晃			細川 晃	細川 晃
	吉井 良太	吉井 良太	吉井 良太	吉井 良太	吉井 良太

細川と吉井の常勤医師2人体制で診療を行っています。
 外来担当日以外の日、他院からの紹介患者さんと入院患者さんの診療及び検査を行っています。
 火曜日と金曜日の午後が、手術日です。月、水、木曜日の午後は、特殊検査や外来手術日として組んでいます。
 また、当科には、臨床検査技師2名、言語聴覚士1名が勤務し、医師の指示のもと聴覚系検査一般、平衡機能検査一般、補聴器装着指導を行っています。

睡眠時無呼吸外来は、内科でポリソムノグラフィーで睡眠時無呼吸の値が高い場合に内科からの紹介で診療をしています。また、アレルギー性鼻炎で鼻閉の訴えが強い患者さんには、日帰りのコプレーターを用いた下甲介粘膜レーザー焼灼術を行っています。また、スギ、ダニのアレルギーがある方には、舌下免疫療法もを行っています。

診療内容

下記などの治療にあたっています。

- 急性中耳炎
- 滲出性中耳炎
- 慢性中耳炎
- 真珠腫性中耳炎などの中耳炎
- めまい
- 顔面神経麻痺
- 突発性難聴
- メニエール病
- 低音障害型感音難聴
- 嗅覚障害
- 味覚障害
- 嚥下障害
- 鼻茸
- 慢性副鼻腔炎
- アレルギー性鼻炎
- 睡眠時無呼吸症候群
- 副鼻腔乳頭腫
- 耳下腺腫瘍
- 顎下腺腫瘍
- 声帯ポリープ
- 声帯腫瘍
- 頸部嚢胞

アレルギー性鼻炎の鼻漏過多に対して後鼻神経切断術を行っています。また、重症の好酸球性副鼻腔炎に対し、デュピクセント®の投与を行っています。鼓膜穿孔に対して、リティンパ®を用いた鼓膜穿孔閉鎖術で行っています。以下に、おもな手術実績を示します。

手術名	R4	手術名	R4
1 鼓膜切開術	19	11 アデノイド切除術	1
2 鼓室内チューブ留置術	5	12 鼻腔粘膜焼灼術	76
3 鼓膜穿孔閉鎖術	9	13 両側口蓋扁桃摘出術	10
4 下甲介粘膜レーザー焼灼術	66	14 扁桃周囲膿瘍切開排膿術	9
5 鼻骨骨折整復固定術	3	15 深頸部膿瘍切開排膿術	4
6 内視鏡下鼻副鼻腔手術	22	16 口蓋腫瘍摘出術	3
7 副鼻腔腫瘍摘出術	1	17 声帯ポリープ切除術	1
8 後鼻神経切断術	9	18 唾石摘出術	5
9 鼻中隔矯正術	40	19 耳下腺腫瘍手術	1
10 内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型	39	20 頸部リンパ節摘出術	3
		上記ほか 合計	326

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

【しかこうげか】 歯科口腔外科



Dentistry and Oral Surgery

■ 佐久地域の歯科口腔外科二次医療機関として 地域医療・ケアに貢献します

当科は病院歯科としての役割を果たすべく、口腔外科疾患の治療や一般開業医での治療が困難な患者さんの歯科治療を中心に診療を行っています。

また、歯科医療における最高の材料や技術を探求すること、科学的に根拠のある治療を心がけること、そして、長い目で見て本当に患者さんに満足していただける治療をすること等、日々努力しております。

さらに、患者さんのお口に関することは全て相談していただけるように身近な存在として、開業医の先生方と連携を取り地域の皆さんの健康に貢献できれば幸いです。

歯科口腔外科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 歯科口腔外科部長 (特殊歯科) おおつか さとし 大塚 聡	平成8年	歯科口腔外科 一般	歯科医師臨床研修指導医 日本睡眠学会会員 日本睡眠歯科学会会員 長野県歯科医師会認定警察歯科医
 歯科口腔外科部長 (口腔外科) たきざわ あつし 瀧沢 淳	平成13年	歯科口腔外科 一般	日本口腔外科学会専門医 日本有病者歯科医療学会専門医 日本口腔科学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医(歯科口腔外科) 歯科医師臨床研修指導医
 歯科医長 かわもと まきこ 川本 真貴子	平成28年	歯科口腔外科 一般	医学博士 日本口腔外科学会会員 日本口腔科学会認定医 日本口腔ケア学会会員 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会会員
 嘱託医師 おくやま ひでき 奥山 秀樹	昭和57年	歯科口腔外科 一般 高齢者歯科 障害者歯科	日本老年歯科医学会評議員・ 指導医・専門医・認定医 日本口腔外科学会会員 日本有病者歯科医療学会会員 歯科医師臨床研修指導歯科医 日本臨床栄養代謝学会終身認定歯科医 全自病・国診協地域包括医療ケア認定医 長野県障害者歯科相談医

【非常勤医師】

しばた あきのぶ
柴田 哲伸
 日本口腔外科学会専門医・認定医
 日本口腔科学会認定医
 日本がん治療学会会員

日本がん治療医認定機構がん治療認定医(歯科口腔外科)
 日本有病者歯科医療学会会員
 日本顎変形症学会会員

きつぎ あさひ
木次 朝日
 日本矯正歯科学会認定医

診療体制

当科は予約制です。御予約は電話および直接歯科窓口でお願いします。
 なお、急患は随時受け付けています。他医院からのご紹介は地域医療室連携係にて予約調整を行っています。
 障がい者の歯科治療については、東信地区の基幹病院に指定されています。

	月	火	水	木	金
担当医師	大塚 聡	大塚 聡	大塚 聡	大塚 聡	大塚 聡
	瀧沢 淳	瀧沢 淳	瀧沢 淳	瀧沢 淳	瀧沢 淳
	川本 真貴子	川本 真貴子	川本 真貴子	川本 真貴子	川本 真貴子
	奥山 秀樹	奥山 秀樹	奥山 秀樹	奥山 秀樹	
		矯正歯科 月1回 木次 朝日			口腔外科 柴田 哲伸

診療内容

当科は虫歯や歯周病、義歯といった一般的な歯科治療以外に、口腔外科疾患の治療等を行っております。

■口腔外科治療

- ①口の中のケガ（唇や舌が切れたなど）や歯のケガ（歯が折れる・抜ける）
 - ②顎の骨折
 - ③歯の中や周りの細菌による顎顔面の炎症
 - ④口内炎をはじめとする口腔粘膜疾患
 - ⑤顎の関節の病気（口が開きにくい・痛い・音がする）
 - ⑥口腔粘膜や顎の骨にできる腫瘍（できもの）。これは悪性と良性のものがあります。
 - ⑦顎の骨にできる袋（嚢胞性疾患）
 - ⑧唾液腺疾患
 - ⑨三叉神経痛などの神経疾患
- などがあります。口の中や周りに何らかの異常があればご相談ください。

■有病高齢者への歯科診療

高齢社会の中で、全身的に何らかの疾患を有し、歯科治療を行う上で、リスクの高い患者さんの治療を病院歯科の役割として行っております。循環器疾患・脳血管疾患・呼吸器疾患・抗血栓治療を受けている方などが該当します。そのような方がいらっしゃれば、ご連絡いただければと思います。

■訪問歯科診療について

何らかの原因により歯科治療に通院できない方に対し、佐久歯科医師会と佐久市の口腔歯科保健センターと連携し訪問歯科診療を行っています。1982年から実施しており、多くの方から喜んでいただいています。通院ができなく義歯やお口のことでお困りの方がいましたら、市の口腔歯科保健センターか当科へご連絡いただければと思います。

■障がい者の方への歯科診療について

当科は長野県下4つの障がい者歯科基幹病院の1つに指定され、東信地区を担当しております。地域の障がい者歯科相談医の先生方と協力し身体・知的障がい者の歯科治療を行っています。特に、通常治療が困難な方に対する薬物を用いた鎮静法や、全身麻酔下歯科治療を行っています。歯科治療にお困りの障がい者の方がいらしたら当科にご相談ください。

■口腔ケアと摂食嚥下リハビリテーション

高齢社会の到来に伴い、誤嚥性肺炎で亡くなる高齢者が増加しています。誤嚥性肺炎の原因の一つとして、口腔内細菌が取り上げられています。何らかの原因で上手く嚥下できなくなると、口腔内の細菌が肺に侵入し肺炎を起こすことがあります。したがってこれを防止する手段として、口腔内の細菌をできるだけ少なくするための口腔ケアがクローズアップされています。また、摂食嚥下機能を回復する手段として摂食嚥下リハビリテーションが注目されています。当科では、病棟に入院した方を中心に自分で口腔内の清掃ができない方の口腔ケアを行っています。また、言語聴覚士と協力しVF（嚥下造影検査）や摂食嚥下リハビリテーションを行っています。ご自分で口腔内を清掃できない方や口から食べ物がこぼれる・むせる・上手く飲み込めない等の摂食嚥下障害が疑われる方は当科にご相談ください。

■インプラント治療

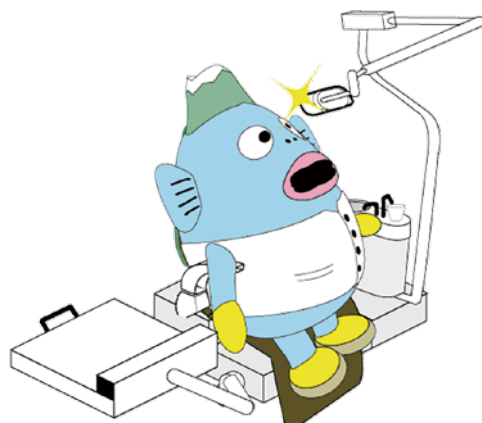
歯を何らかの理由で失ってしまった時、多くは義歯やブリッジで補うことになります。しかし義歯は一日に数回出し入れし清掃しなければならず、また、使いこなせるまでに時間がかかるというデメリットがあります。いっぽうブリッジは支える歯を削ることが必要となるデメリットがあります。そこで歯を失った顎に人工歯根を植えるのがインプラント治療です。失った歯の部位や数によって治療法が異なり、また顎の骨の状態でインプラント治療ができないこともありますので、具体的には相談してください。なお、インプラント治療は保険診療外で自費診療となります。

■ビスホスホネート製剤などと歯科治療

ビスホスホネート系薬剤などは骨粗鬆症等の患者さんや、癌疾患の高Ca血症・骨病変に使用されています。本剤の投与患者さんにおいて、顎骨壊死・顎骨骨髓炎が発現することが近年報告されています。症例の多くが抜歯等の歯科処置や局所感染と関連しており、特に抜歯した部位付近で発生しています。リスク因子として、歯科処置（特に抜歯）、口腔の不衛生などが考えられているので、歯科治療に際し、患者さんが本剤の投与を受けている場合には注意が必要です。

■周術期口腔機能管理

がんの手術や化学療法・放射線治療の際に歯科治療及び口腔ケアをすることにより、がん治療の合併症をできるだけ少なくし、医療の質そして生活の質の向上に貢献します。



泌尿器科

【ひにようぎか】



Urology Department

現在、泌尿器科は非常勤医のみでの診療体制となっております。

泌尿器科医師の紹介

【非常勤医師】

とみた ひかる
富田 光
やまのい まりこ
山ノ井 万里子
なかむら まさき
中村 真樹

東京大学医師

診療体制

	月	火	水	木	金
担当医師	東京大学医師 山ノ井万里子	山ノ井万里子 (予約のみ)	富田 光	中村 真樹 山ノ井万里子	

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

形成外科

【けいせいげか】



Plastic Surgery

形成外科は、手術を中心とした治療で、おもに体表の整容的・機能的な改善を行い、社会生活の質（QOL：Quality of life）を向上させることを目的とした科です。

巻爪治療も行っています。

形成外科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
非常勤医師 まるやま ゆりこ 丸山 百合子	平成3年	形成外科	日本形成外科学会専門医
非常勤医師 ふじた けんご 藤田 賢吾	令和2年	形成外科	

診療体制

	月	火	水	木	金
担当医師		藤田 賢吾 (9:00~11:30)			丸山 百合子 (9:00~11:30)

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

皮膚科

【ひふか】



Dermatology

■皮膚科は、体の表面に存在するあらゆる皮膚のトラブルについて対処します

皮膚はからだの中では大きな臓器であり、頭の高から足先までいるんな部位にトラブルが起こります。赤ちゃんから高齢者まですべての年齢の患者さんを診察します。気軽に相談でき、適切に診断、治療を行う皮膚科にしていきたいと思っています。

皮膚科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 皮膚科医長 やすみず まきこ 安水 真規子	平成21年	皮膚科一般	日本皮膚科学会専門医

診療体制

	月	火	水	木	金
午前 (9:00~11:30)	安水 真規子	安水 真規子	安水 真規子	安水 真規子 (予約外は10:30まで)	安水 真規子
午後 (13:30~16:00)	安水 真規子	褥瘡回診	手術		安水 真規子

診療内容

アトピー性皮膚炎、湿疹、じんましん、にきび、水虫、とびひ、ヘルペス、帯状疱疹、イボ、ほくろ、円形脱毛症、多汗症等や日常的なケガ、傷、やけどの患者さんを診察しています。その他に褥瘡回診や日帰りの小手術を行っています。

難治性のじんましんの方や、かゆみや皮疹のコントロールがつきにくいアトピー性皮膚炎の方に抗体製剤（注射）による治療を行っています。

自費診療としてはシミに対してのハイドロキノン配合製剤（5g）を扱っております。

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

救急医療部

【きゅうきゅういりょうぶ】



Emergency Medicine

■ 救急外来では、24時間体制で救急車による搬送患者さんや重症度の高い患者さんを優先的に診察しております

各科の専門医による診察へ振り分けることにより、より質の高い医療を提供することをめざしています。救急外来に隣接している中央処置室では、5床のベッドを備えており、点滴治療、経過観察なども行えるようになっています。

なお、当院は医師臨床研修指定病院ため、研修医が各科診察において研修指導医とともに診察に参加しております。ご理解、ご協力をお願いいたします。

救急医療部医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 救急医療部長(兼)外科部長 (肝・胆・膵) おがた さとし 尾形 哲	平成7年	消化器外科 (肝・胆・膵) 肝移植	日本消化器外科学会専門医指導医 日本消化器外科学会がん外科治療認定医 日本外科学会専門医 日本肝臓学会専門医 日本医師会認定産業医
 救急医療部副部長(兼)内科医長 糖尿病副センター長 おした ゆうき 尾下 雄紀	平成27年	糖尿病 一般内科 内分泌	日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医 日本糖尿病学会専門医 日本糖尿病協会認定医

脳神経外科

産婦人科

眼科

小児科

新生児科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

泌尿器科

形成外科

皮膚科

救急医療部

【ますいか】 麻酔科



Anesthesiology

■安全な麻酔を心がけています

当院の外科、脳外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、歯科口腔外科のすべての予定手術、緊急手術に24時間、対応しています。疾患の種類、患者様の状態によって適切な麻酔法を選択し、それぞれの科の医師、手術室看護師と協力して術後まで安定した状態を作る事に努力しています。

外来診療は行っていませんが、術前の説明で、できるだけ安心して手術を受けていただけるように心がけています。

*麻酔科医以外に麻酔の技術を習熟している外科系の医師も協力して行っています。

麻酔科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 麻酔科部長 ゆい かつひこ 油井 勝彦	平成元年	麻酔一般	麻酔科標榜医 麻酔専門医
 嘱託医師 なかい あつし 仲井 淳	昭和52年	麻酔一般	麻酔科標榜医

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所
へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

【びょうりしんだんか】 病理診断科




Pathology

当科は1名の常勤病理医、4名の非常勤病理医が、病理組織診断を行っています。病理診断科における診療内容は消化器内視鏡検体、婦人科細胞診など診療各科より提出された各種検体（組織、細胞）の病理組織診断、術中迅速組織診断、細胞診断を提供することです。

病理診断科は、直接患者さんの診察は行いませんが、診療各科に受診中または入院している多くの患者さんのために精度の高い病理診断を行っています。また、がん研病理部、信州大学との連携を密にしており、常に最新の情報を取り入れるとともに難しい症例については、連携先の病理医に積極的にコンサルテーションを行い、よりの確な診断を行っています。また、学会発表や論文作成にも積極的に関わり、当院からの新たな情報発信の源泉になっています。

なお、当院は日本病理学会登録施設、日本臨床細胞学会認定施設になっています。

病理診断科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 病理診断科医長 きたがわ さとし 北川 諭	平成12年	外科病理診断 免疫組織化学	日本病理学会病理専門医・研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医・教育研修指導医 日本内科学会認定内科医

【非常勤医師】

きたがわ ともゆき
北川 知行

もとやま ていいち
本山 悌一

かんの ひろゆき
菅野 祐幸

とのおか あきこ
外岡 暁子

診療体制

常勤病理医 1名
非常勤病理医 4名
専任技師 3名（細胞検査士有資格者）

診療内容

組織診：年間約2,000件
細胞診：6,000件
剖検：5件

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

総合診療科

【そうごうしんりょうか】



General Practice

■総合的に患者さんを診療します

単一の臓器にとどまらない全身疾患や高齢者等複数の疾患が合併している患者さんにおいて専門の壁を取り払い、総合的に患者さんを診察いたします。原発不明癌、不明熱等、原因のわからない病態も担当して原因究明を行います。

総合診療科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 内科部長 (総合診療) たかはま みき 高濱 充貴	平成8年	総合内科	日本内科学会総合内科専門医 麻酔科標榜医 マンモグラフィ読影認定医 乳腺超音波読影認定医 人間ドック学会認定医 日本登山医学会認定国際山岳医
 内科医長 おぼた けいた 小幡 景太	平成21年	総合内科 循環器	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会会員

診療体制

研修医や若手医師とともに、救急外来・入院病棟においてチーム医療に当たります。

診療内容

不明熱・原発不明癌・感染症・消化器疾患・内分泌疾患・膠原病・膠原病類縁疾患等

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所
へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

診療所 へき地診療所

【しんりょうじょ・へきちしんりょうじょ】



Medical Care in a Remote Place

■ 地域医療の充実のため、診療所の開設の受託をしています

診療所・へき地診療所医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 嘱託医師 よこうち ひろよし 横内 裕佳	昭和49年	一般内科	日本内科学会会員 医学博士 臨床検査科医師 診療所担当

診療体制

	月	火	水	木	金
午前	浅間病院	浅間病院	浅間病院	浅間病院	東地診療所
午後	平尾診療所	布施診療所 (毎月第2火曜のみ)	浅間病院	鳴瀬診療所	浅間病院

往診

医師が必要に応じて、自宅に訪問して診療を行います。

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

地域包括ケア病棟

【ちいきほうかけあびょうとう】



Hospitals for Community-based Care

■急性期治療が終了し病状が安定した患者様に対して 在宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行う病棟です


患者様とご家族様が望む形での「退院後」を実現できるよう、医師・看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・栄養士・専任の退院支援者（ソーシャルワーカー・退院調整看護師）が退院後のケアについて、各種関係機関との連携を行いながらサポートしています。

<対象患者様>

在宅あるいは介護施設等に復帰予定の方で・・・

- ①急性期の治療は終了し、状態は改善したがもう少し経過観察が必要な方。
- ②入院治療により症状が安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方。
- ③在宅での療養準備（住宅改修・介護サービスの調整など）が必要な方。
- ④医療行為やオムツ交換などご家族が練習を必要とする場合。
- ⑤在宅や施設等で療養中の方が体調不良となった時に緊急に受け入れすることも検討しています。

地域包括ケア病棟医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 嘱託医師 わだ まさのり 和田 正紀	昭和44年	一般内科	

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

手術部

【しゅじゅつぶ】



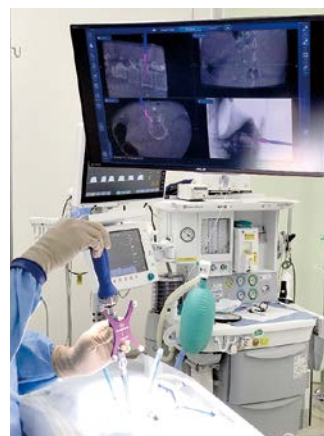
Surgery Section

2016年4月より手術部が開設され、2017年4月から、新手術室が稼働しています。新手術室は全7室を中央の廊下の左右に配置し、人工授精も可能な胚培養室も完備しています。当院では、昨年は外科系7診療科（外科・整形外科・産婦人科・耳鼻科・眼科・形成外科・歯科口腔外科）の手術が年間約2,600件行われ、その内全身麻酔は約1,300件、緊急手術は約1/4を占めています。また、体外受精、胚移植も年間100~150件行っています。

「患者さんが安心して安全に手術治療が受けられる」をモットーに医師・看護師・コメディカルが協力して24時間365日手術を受けられる体制を整え日々医療技術、医療機器の進歩に対応しています。手術室の東側に中央材料室を併設し、病院内の手術や医療機器の洗浄から滅菌に至る業務を一括して行っています。

手術部医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 <p>手術部長(兼) 耳鼻咽喉科部長 ほそかわ あきら 細川 晃</p>	平成5年	耳鼻咽喉科一般 平衡・画像・聴覚分野	日本耳鼻咽喉科学会専門医 医学博士 耳鼻咽喉科臨床研修指導医 日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医
 <p>手術部副部長(兼) 外科医長 とみおか ひろゆき 富岡 寛行</p>	平成8年	消化器外科(大腸) 肛門外科	日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科) 日本大腸肛門病学会指導医・専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本ストーマ排泄リハビリテーション学会ストーマ認定士 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 ICD制度協議会認定インフェクションコントロールドクター 日本臨床肛門病学会会員



麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療科・へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

医療技術部

【いりょうぎじゅつぶ】



Medical Technology

■ 診療部・看護部と協力し医療技術職として、チーム医療に貢献します

医療技術部は、診療と看護の双方を技術的に支える部です。部内には、薬剤科・臨床検査科・放射線科・歯科口腔衛生技工科・リハビリテーション科・栄養科・臨床工学科があり、国家資格を有した職員が配属されております。

それぞれの部門では、進歩し続ける最新の医療技術および技能を修得し、医師をはじめ医療スタッフに適切な情報を伝え、患者さんに良質な医療を提供できるよう研鑽しております。

また、チーム医療の分野にも積極的に参加し、多くの患者さんのニーズに応えられるよう努力するとともに、医療の安全性の向上に努めております。

医療技術部の理念

「患者さん中心の、患者さんのための良質な医療の実践」（病院理念から）

- ① 専門医療技術を日々研鑽し、信頼される医療を行うために、適切な医療技術を提供します。
- ② 各職種の専門性を活かし、チーム医療に積極的に貢献します。
- ③ 患者さんの気持ちになって、安全・安心・確実に信頼されるよう努めます。

医療技術部の体制

薬剤科	薬剤係
臨床検査科	検体検査係 病理検査係 生理検査係
放射線科	一般放射線係 特殊放射線係
歯科口腔衛生技工科	歯科口腔衛生技工係
リハビリテーション科	理学療法第1係 理学療法第2係 作業療法・言語聴覚係 視能訓練係
栄養科	栄養係
臨床工学科	臨床工学係

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所
へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

患者さんを中心にした医薬品の適正使用を目指し、医療事故の防止と安全で効果的な薬物療法に貢献していくために、チーム医療の一員として他の医療スタッフと連携し毎日の業務に取り組んでいます。

体制

薬剤師16名、医療事務職員1名、治験事務局職員1名のスタッフで構成され、365日24時間体制で対応しています。

業務内容

薬剤業務	調剤	外来調剤、入院調剤、注射調剤
	製剤	注射抗がん剤無菌調製、TPN無菌調製、院内製剤
	薬・薬連携	院外処方せん対応（院外処方せん発行率:約95%）、疑義照会簡素化プロトコール、トレーシングレポート、退院時薬剤情報提供書作成、外来化学療法における保険薬局相談窓口、院外処方せんへの検査値記載
	教育実習	薬学生実務実習、新人研修プログラム（宿直・日勤に向けた業務手順書）
医薬品管理業務	治験事務局	治験、製造販売後調査、臨床研究
	医薬品在庫管理	採用、購入、保管、払出、管理（麻薬及び向精神薬、毒劇薬、血液製剤）、治験薬
	医薬品情報管理	医薬品情報収集・管理・提供（薬剤科情報・医薬品集・副作用情報）、電子カルテシステム管理
入院・外来業務	病棟薬剤業務	病棟担当薬剤師による薬学的介入（持参薬確認、処方提案）、医療スタッフからの相談・情報提供、TDM解析
	薬剤管理指導業務	入院患者への服薬説明、退院時指導、ハイリスク薬への対応、薬剤総合評価加算（ポリファーマシー対策）と退院時薬剤情報連携加算（薬・薬連携）への取り組み
	外来通院治療室	外来注射抗がん剤の無菌調製・監査・患者指導、連携充実加算への取り組み
	薬剤師外来	がん患者指導管理、DMセンター、入院支援（持参薬確認）
	チーム医療	ICT（感染制御）・NST（栄養）・DST（糖尿病）・RST（呼吸器）・AST（抗菌薬）ラウンド・カンファレンス、院内委員会への参加

主な認定資格等 (2023年4月現在)

がん薬物療法認定薬剤師1名、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師1名、感染制御認定薬剤師1名、緩和薬物療法認定薬剤師1名、日本糖尿病療養指導士2名、糖尿病薬物療法准認定薬剤師1名、NST専門療法士1名、小児薬物療法認定薬剤師1名、介護支援専門員1名、認定実務実習指導薬剤師2名、日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師14名



【調剤室カンファレンス】



【外来通院治療室抗がん剤調製・監査】

【薬剤科メンバー】



麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

臨床検査科

【りんしょうけんさか】

臨床検査科は、1名の臨床検査医、1名の常勤医、24名の臨床検査技師、2名の看護師により構成され、24時間体制で検査業務に従事しています。検査データを正確かつ迅速に臨床側へ提供するために、医師会・技師会主催の精度管理事業に積極的に参加し精度の保障に努めています。また、研修会・学会等にも意欲的に参加し、一人ひとりが自己研鑽に励み、認定資格を取得し、チーム医療にも積極的に取り組んでいます。

当科は業務内容によって、3係に分かれています。それぞれの係について簡単に御紹介します。

臨床検査科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 地域医療部副部長 健康管理科部長 臨床検査科部長 いまふく ゆうじ 今福 裕司	平成4年	臨床検査医学	日本臨床検査医学会認定 臨床検査専門医 日本医師会認定産業医
 嘱託医師 よこうち ひろよし 横内 裕佳	昭和49年	一般内科	日本内科学会会員 医学博士 臨床検査科医師 診療所担当

検体検査係

1階採血室では、外来患者さんの採血と尿検査を行っています。採血された血液は2階検体検査室にリフトで送って検査します。検査項目毎に測定装置が異なりますが、毎日精度管理用のコントロール液を測定して各種分析機の管理をし、さらに前回値、異常値のチェックをして測定値を報告しています。以下に各階での仕事内容を記します。

■ 1階採血室での検査内容

採血・採尿受付	採血・採尿受付機での受付サポート
採血	依頼内容に沿った採血
尿検査	尿定性・尿沈渣
糖尿病関連検査	血糖・HbA1cの測定、尿糖定量、75gOGTT

■ 2階検体検査室での検査内容

血液検査	血球計測、血液像、凝固検査、骨髓検査、血液型検査、赤血球沈降速度
一般特殊検査	髄液検査、穿刺液検査、便潜血検査、精液検査、浸透圧検査、妊娠反応、ピロリ菌感染検査
生化学検査	肝・腎機能検査、脂質検査、蛋白質検査、薬物検査
免疫血清検査	感染症検査、腫瘍マーカー検査、甲状腺ホルモン検査、インフルエンザ等のウイルス検査
輸血検査	輸血用製剤の発注・保管・管理、交差試験、不規則抗体検査、直接・間接抗グロブリン試験

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

病理検査係

【細菌部門】

細菌検査室は一般細菌の同定・感受性と抗酸菌の塗抹・培養検査を行っています。採取された検体（喀痰、尿、便、血液など）から感染症の原因菌を見つけ出し、原因菌にどの抗菌薬が効くか検査します。また、特定の迅速感染症検査にも対応しています。

担当技師は院内感染防止委員会に参加し、院内環境の調査、院内感染原因菌の検出状況、抗菌薬の適正使用状況把握など、感染情報の管理や情報提供を行い、院内感染の防止にも努めています。

【病理部門】

組織検査、細胞検査、病理解剖を行っています。組織検査では、内視鏡検体、手術検体、術中迅速診断等、精度の高い結果報告を心がけています。細胞検査は、2名の細胞診専門医、3名の細胞検査士が迅速で正確な結果報告を心がけて婦人科塗抹標本、尿、喀痰、乳腺や甲状腺などの穿刺吸引細胞診などの検体を対象に検査を行っています。病理解剖は、ご遺族のご理解とご協力のもと、自己および病院の医療の質を絶えずチェック、反省し、向上させていくことを目的として行っています。

生理検査係

生理検査とは生体现象を電氣的、生理的にとらえ記録する検査です。

検査内容としては生体の電気信号を波形に変換する検査（主に心電図、脳波等）と生体内の状態を画像で表す検査（主に超音波検査）があります。

検査項目は以下の通りです。

- | | | | |
|-------------|-------------|------------------|-----------------|
| ■ 12誘導心電図 | ■ マスター負荷心電図 | ■ トレッドミル検査 | ■ 血圧脈波検査 |
| ■ ホルター心電図検査 | ■ 脳波検査 | ■ 終夜睡眠ポリグラフ | ■ 脳神経外科術中モニタリング |
| ■ 呼吸機能検査 | ■ 知覚・痛覚検査 | ■ 下肢動脈超音波検査 | |
| ■ 心臓超音波検査 | ■ 頸動脈超音波検査 | ■ 下肢静脈DVTスクリーニング | |
| ■ 腹部超音波検査 | ■ 乳腺超音波検査 | ■ 経食道超音波検査 | |

高度生殖補助医療（ART）

高度生殖医療とは体外受精や胚移植など、配偶子（精子や卵子）、胚（受精卵）を体外で取り扱う治療のことをいいます。

検査科では手術室内の培養室で採卵のお手伝い、卵子の培養、精子の調整・媒精、成長した胚の凍結および融解、母体に成長した胚を戻す胚移植を行っています。また、受精障害や重症男性不妊症に対しては顕微授精も行っています。検査室では、精液検査や人工受精の調整を行っています。

聴覚・平衡機能検査

耳鼻咽喉科の外来では医師の指示のもと、聴覚系検査、平衡機能検査を行っています。

検査項目は以下の通りです。

〈聴覚系検査〉

- | | | |
|--------------------------------|------------|----------|
| ■ 標準純音聴力検査 | ■ 標準語音聴力検査 | ■ 健診聴力検査 |
| ■ ティンパノメトリー | ■ 耳小骨筋反射検査 | ■ 耳鳴検査 |
| ■ 聴性誘発反応聴力検査 | | |
| ■ 内耳機能検査（SISI検査、UCL、グリセオールテスト） | | |
| ■ 内耳機能検査（パッチテスト） | | |

〈平衡機能検査〉

- | | | |
|----------|---------|----------|
| ■ 重心動揺検査 | ■ 電気眼振図 | ■ 温度眼振検査 |
|----------|---------|----------|

資格一覧

- | | | | | | |
|-----------------|----|-------------------------|----|--------------|----|
| ・超音波検査士 | 7名 | ・認定輸血検査技師 | 3名 | ・医療情報技師 | 1名 |
| ・細胞検査士 | 3名 | ・体外受精コーディネーター | 1名 | ・認定血液検査技師 | 1名 |
| ・糖尿病療養指導士 | 2名 | ・2級臨床検査士 | | ・消化器内視鏡技師 | 1名 |
| ・睡眠医療認定検査技師 | 1名 | （血液1名、循環生理1名、病理2名、細菌1名） | | ・乳がん検診超音波検査師 | 2名 |
| ・登録抗酸菌症エキスパート | 1名 | ・緊急検査士 | 2名 | ・医療安全管理者 | 1名 |
| ・日本不整脈学会心電図検定2級 | 2名 | ・臨床検査技師臨地実習指導者 | 1名 | | |

臨床工学科は9名のスタッフで業務を行っています。人数が少ない科ではありますが、透析や循環器などの臨床業務だけでなく医療機器のメンテナンス等にも力を入れ院内の医療機器が安全に使用できるよう業務を行っています。血液浄化や循環器関連に関しては24時間365日常に対応できる体制になっています。

臨床工学科は医療機器に関する知識と臨床技術の提供を通し安心安全な医療の提供に努めています。

1 血液浄化部門

血液浄化部門は透析室で慢性腎不全に対する透析治療を中心として業務を行っています。当院では清浄度の高い透析液を供給するために臨床工学技士による徹底した製造管理を行っており、オンラインHDFやI-HDFを積極的に取り入れ、患者さんの状態に合わせた治療方法の選択ができるようにしています。

また、各種急性血液浄化や腹水濾過濃縮再静注等にも対応できるようにしています。



2 機器管理部門

人工呼吸器等の生命維持管理装置を始めとして院内には多数の医療機器が存在します。すべての医療機器が安全かつ適正に使用されるよう管理しています。日常的な点検だけでなく定期的な点検やトラブル等の対応に関しても迅速に対応できるよう、メンテナンス講習会等にも参加し技術の向上に努めております。輸液ポンプやシリンジポンプ等院内の多くの部署で使用されている機器は中央管理としており円滑な機器の運用だけでなく管理コスト削減にも貢献しています。



3 手術部門

手術室では多種多様な医療機器の点検を計画的に実施しています。

手術中の機器のトラブルや故障にも迅速に対応し、手術が滞る事なく安全に行えるように努めています。

機器の取り扱いについては随時、操作方法の教育や簡易取扱説明書の作成などを行い、ヒューマンエラー防止に努めています。

また、O-armナビゲーションシステム、自己血回収装置、仙骨神経刺激装置などの操作にも関わっております。



4 循環器部門

循環器部門は医師、看護師、放射線技師等とチームを組み心血管カテーテル検査・治療に関わっています。治療中はポリグラフの操作やIVUS等のイメージング装置の操作、PCPSやIABP等の補助循環装置の準備や管理を行い、治療時には清潔野での医師の介助も臨床工学技士が行っています。ペースメーカーも植込みから定期的なフォローアップ、遠隔モニタリング緊急時のチェック等も常に対応できる体制をとっています。緊急時は24時間いつでも対応できるようになっています。



5 認定資格取得等

- ・透析技術認定士 5名
- ・不整脈治療専門臨床工学技士 1名
- ・日本救急医学会認定ICLSインストラクター 3名
- ・ICLS Provider
- ・医療情報技士 1名
- ・周術期管理チーム認定 2名
- ・呼吸療法認定士 5名
- ・心血管インターベーション技師（ITE） 1名
- ・AHA-ACLS Provider
- ・認定集中治療関連臨床工学技士 1名

臨床工学科では知識・技術の向上を目指し各種認定資格の取得も積極的に行っています。また、日々進化する医療技術に関する最新の情報を得ていくためにも各種学会への参加や発表にも力を入れています。

6 医療機器安全管理体制

医療安全は病院にとって最重要課題となっています。今日の診療に医療機器はなくてはならないものとなり、医療機器に関する医療事故も多数報告されている中で、臨床工学科では医療安全管理室とともに医療機器が安全に使用できるよう機器の管理・選定等にも積極的に関わり、スタッフ向けの生命維持管理装置を中心とした各種医療機器の研修会等の開催にも行っています。

医療機器安全情報の発信も行い、医療安全活動を推進しています。

放射線科

【ほうしゃせんか】

私たち放射線科では患者さんに安心して検査を受けていただくため、技術の向上、被曝の低減を考え、事故（ミス）ゼロを目標にレベルの高いサービスを提供できるよう日々努力しております。



検査内容

- 1 X線撮影（FPDシステム3台）
- 2 CT検査（80列MDCT1台）
- 3 MRI検査（1.5T1台）
- 4 X線TV検査（DR装置3台）
- 5 血管造影検査（FPD血管撮影装置2台）
- 6 マンモグラフィー（デジタル乳房X線撮影装置1台）
- 7 骨密度測定検査（DEXA1台）
- 8 核医学検査（RI検査）（ガンマカメラ1台）



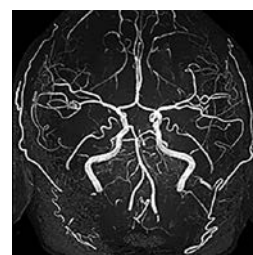
1.5T MRI装置



腰椎MRI



頭部MRI



頭部MRA

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア棟

介護療養医療施設

手術部

医療技術部

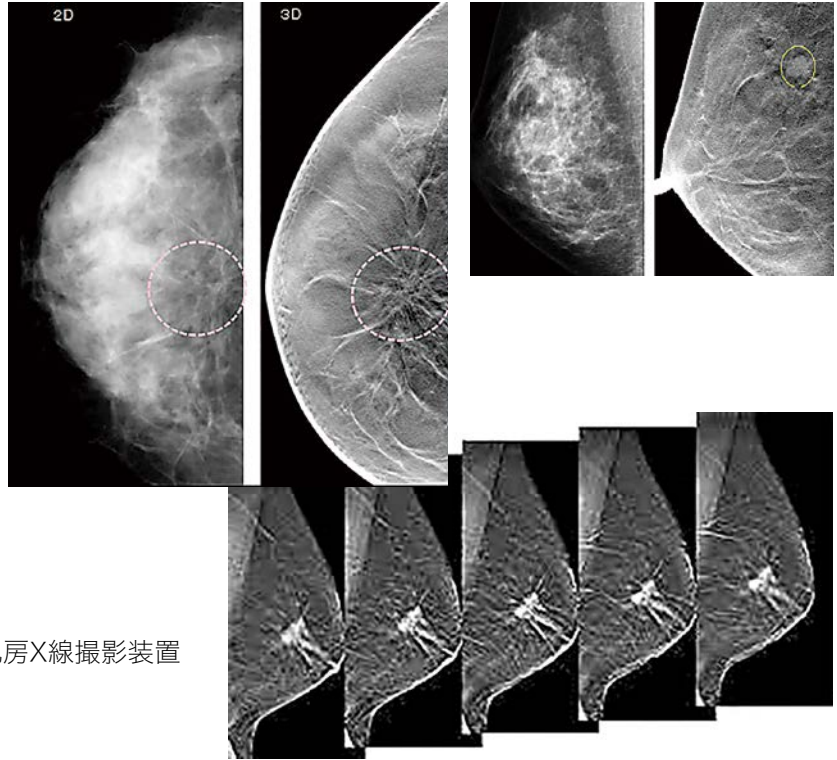
看護部

医療安全管理室

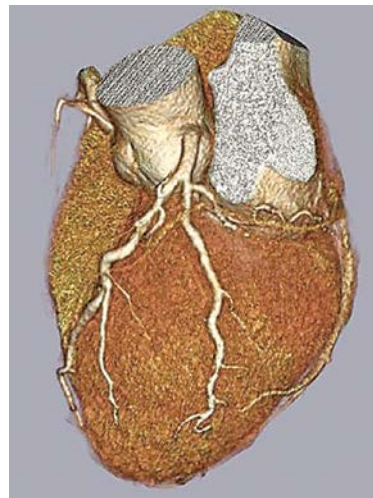
感染制御室



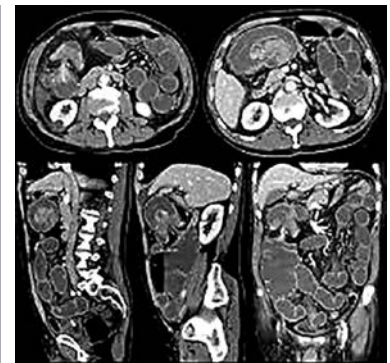
3D (トモシンセシス) デジタル乳房X線撮影装置



80列 MDCT装置



心臓3DCT



腹部CT



デュアルプレーン血管撮影装置



冠動脈造影



脳血管造影

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

歯科口腔衛生技工科

【しかこうくうえいせいぎこうか】

歯科口腔衛生技工科では、歯科衛生士6名、歯科技工士3名のスタッフにより構成されています。歯科医師とともに、患者さんの口腔疾患の治療及び予防、さらに口腔機能向上・回復を図り、健康で快適な社会生活を営むためのチーム医療を行い、良質な医療が提供できるよう努力しています。

歯科衛生士

一般業務として

- ①口腔衛生指導 ②診療補助 ③予防処置
があり、最新の技術が提供できるよう研鑽に努めています。

病院歯科としての業務

①歯周病について

歯周病は生活習慣病といわれ、糖尿病・心疾患など全身疾患と密接に関連していることが解明されています。歯周病治療を積極的にすることで、全身疾患の予防に努めています。

②入院患者様の口腔ケア等について

- ▶脳血管障がい患者さん等への専門的口腔ケア
- ▶がん・整形外科疾患等周術期患者さんへの専門的口腔ケア
- ▶切迫早産加療中の妊婦さんへのブラッシング指導
- ▶摂食嚥下障害を有する患者さんに対する口腔ケア・摂食機能療法
- ▶誤嚥性肺炎患者さんに対する口腔ケアと歯科治療
- ▶介護療養型病棟や協力施設に対する口腔ケア・マネジメント・口腔衛生管理等、病棟依頼を受け実施しています。

③要介護者・障がい有する方等への指導

要介護状態で歯科通院できない方への訪問診療や、心身に障がい有する方の歯科診療を県の基幹病院として行っています。また、ご本人及びご家族、施設職員の方に、口腔衛生指導等を実施しています。

病院歯科としての業務

がんの治療で化学療法を行うと、その副作用で口内炎が高頻度で発症します。そのため食事ができないなどの理由で化学療法が予定通りできないことがあります。そこで化学療法の前から口腔ケアをしっかり行い、また化学療法中には治療が難しくなることもあるので未治療な口腔疾患の治療をしておくことが大切です。そうしたサポートを当科では実施しております。

また頭頸部等のがん治療で放射線治療を行った後に口腔乾燥が著明になることがあり、そうした対応も実施しております。

さらに全身麻酔手術の術前・術後で口腔ケアを行うことにより術後の肺炎や手術部位の感染等の術後合併症をできるだけ少なくし、医療の質の向上、そして生活の質の向上に貢献します。

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

糖尿病と歯周病

歯周病は糖尿病の第6の合併症といわれており、互いに深く影響しています。また最近の研究で、歯周病の治療を行うことにより糖尿病の治療に役立つことがわかってきました。当院の糖尿病教室でもそうした糖尿病と歯周病の関係についてお話をしております。糖尿病と診断された方は眼科受診をすると思いますが、同様に歯科受診をすることも必要です。

歯科技工士

一般歯科技工

虫歯や歯周病などで、歯を喪失して損なわれた口腔機能や審美を回復するために捕綴物（義歯・金属冠・前装冠等）を製作します。近年、審美性に対する要望が高まり金属を敬遠される患者さんが増えています。当院ではセラミック等を使った治療の際に院内に歯科技工室があるメリットを生かし、技工士が直接患者さんとコミュニケーションを取り、色や形など患者さんが満足いくよう努めています。

- ▶保険適用補綴物（義歯、金属冠、硬質レジン前装冠等）の製作
 - ▶保険適用外補綴物（金属床義歯、各種セラミック冠、ハイブリッド冠等）の製作
 - ▶義歯修理は外来・入院患者さん共に即日対応
 - ▶義歯の洗浄、名前入れを即日対応
- など

特殊歯科技工

総合病院に歯科技工室があることで、医科歯科で連携した各種口腔内装置の製作が可能です。

- ▶全身麻酔時の口腔内保護装置（プロテクター）の製作
 - ▶睡眠時無呼吸症候群の患者さん用口腔内装置の製作
 - ▶顎関節症の患者さん用口腔内装置の製作
 - ▶口腔外科手術の際の保護シーネ、止血シーネ等の製作
- など



リハビリテーション科

【りはびりてーしょんか】

医師の指示のもとに急性期から慢性期、その後の在宅までの一貫したサービス提供を行い、患者さんのニーズである早期自宅退院・社会復帰を目指しリハビリテーションを行っています。当科は理学療法（PT：Physical Therapy）作業療法（OT：Occupational Therapy）言語聴覚療法（Speech-Language-Hearing Therapy）の3部門で構成され、それぞれに専門職である理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が配置されています。

施設基準

- 脳血管疾患等リハビリテーション |
- 運動器疾患等リハビリテーション |
- 呼吸器リハビリテーション |
- 廃用症候群リハビリテーション |
- 心大血管疾患リハビリテーション |

リハビリテーション科医師の紹介

氏名	卒業年度	専門	資格等
 <p>整形外科部長 (脊椎外科) ありよし だい 有吉 大</p>	平成16年	整形外科 脊椎外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医 日本整形外科学会認定脊椎内視鏡下手術・技術認定医
 <p>嘱託医師 わだ まさのり 和田 正紀</p>	昭和44年	一般内科	
 <p>嘱託医師 なかじょう かおるこ 中條 薫子</p>	令和2年	一般内科	

部門別スタッフ数

理学療法部門	理学療法士	22名
作業療法部門	作業療法士	10名
言語療法部門	言語聴覚士	3名
視能訓練部門	視能訓練士	6名



対象疾患

- 脳神経疾患／脳血管障害（脳出血・脳梗塞・くも膜下出血）、高次脳機能障害、神経筋疾患……等
- 骨関節疾患／骨折、関節リウマチ、脊髄損傷、四肢切断、整形外科疾患術前・術後……等
- 廃用性疾患／内科疾患・外科疾患に起因する廃用性症候群
- 小児疾患／脳性麻痺、ダウン症、自閉症スペクトラム、吃音……等
- 呼吸器疾患
- 循環器疾患

理学療法

理学療法は病気や怪我、事故が原因で身体機能の低下や不自由を抱える方に対して、医師の指示のもと、運動療法を用いて、身体機能の改善を図り、早期の自宅復帰や社会復帰を支援しています。運動療法は、関節の動きを改善する事、筋肉の活動を促す事に加えて、寝返り・起き上がり・立ち上がり・歩行といった動作の練習・指導を含みます。また、補助的手段として超音波など物理療法を用いる事もあります。

当科の特色は、整形外科における変形性関節症の保存療法や、糖尿病内科における運動教室の実施、希望のある場合は個別の運動指導を行なうなど、外来でのリハビリテーションに力を入れている事です。

在籍者が取得している主な資格

- 専門理学療法士（運動器）
- 認定理学療法士（運動器）、（脳卒中）、（呼吸）、（徒手）、（発達障害）
- 3学会合同 呼吸療法認定士
- リンパ浮腫療法士

作業療法

作業療法ではおもに上肢・手指の拘縮や麻痺によって日常生活に支障がある方に対し、医師の指示のもとで上肢・手指の機能訓練を行い、食事動作、着替え動作やトイレ動作などその方にあった日常生活動作の方法を訓練します。また家庭復帰時には、その方の身体の状況にあった住宅改修・福祉機器の紹介・介助方法を指導しています。

言語療法

言語療法ではおもに、失語症・言語発達遅滞・構音障害・聴覚障害のようなコミュニケーション障害や摂食・嚥下障害のある方への評価・助言・訓練を医師の指示のもとで院内はもとより院外の多職種とも連携しながら行っています。

訪問リハビリテーション

当科作業療法士と理学療法士が、患者様宅を訪問させて頂いております。

小児科のリハビリテーション

小児科の医師の診察と連携して、新生児期～学童期までの幅広い年齢のお子さんに対してリハビリテーションを行っています。お子さんの状態に合わせて、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が関わります。発達の様子、身体の状態を評価し、そのお子さんに合わせた支援・治療をご家族や支援者と一緒に考え提供していきます。

栄養業務

栄養相談

入院・外来を問わず、食事療法の必要な患者さんに、医師の指示に基づき、管理栄養士が指導を行っています。とくに外来での栄養相談は生活習慣病がおもな疾患ですので、生活習慣から問題点を見つけ出し、無理のない行動変容をおすすめしていきます。

日本糖尿病療養指導士・東北信地域糖尿病療養指導士・病態栄養認定管理栄養士の資格を有した管理栄養士が、専門的な指導を行っています。

月曜日から金曜日、9：00 から16：00までの予約制です。

栄養管理

入院中の患者さんには、栄養管理計画を作成し、必要栄養量、検査データ、病状等を確認して、栄養状態の改善、QOLの向上を図っています。食事摂取に問題のある患者さんは、ベッドサイドへ管理栄養士が伺い、病棟スタッフと連携をとりながら食事の形態の変更や、栄養補助食品の検討を行っています。

NST（栄養サポートチーム）の活動

入院中の患者さんの中には、栄養不良に陥っている方がいます。栄養状態が悪いと、現疾患の治療が遅れたり、合併症が発生することが多く認められ、入院期間が長くなります。

近年多くの病院で、疾患の早期治療・合併症予防等を目的に、入院患者さんの栄養を多職種でサポートするNST（栄養サポートチーム）が結成されています。

当院では、2006年4月よりNSTを立ち上げ活動しています。メンバーは、TNTを修了した指導医・栄養サポートチーム専門療法士の有資格者が中心となり、医師・歯科医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・言語聴覚士・歯科衛生士が参加しております。異なる職種の複数の専門家がお互いの知識・技術を持ち寄り、チーム医療を行う事により、様々な角度から個々に合った栄養管理を行う事が出来ます。静脈栄養・経腸栄養等の栄養を実施する中で経口摂取が出来る様、努力しています。毎週水曜日にNSTミーティングを、毎週水・金曜日に病棟回診を行っています。

なお、当院のNSTは、日本臨床栄養代謝学会及び日本栄養療法推進協議会の認定施設になっております。



給食業務

様々な病態の患者さんに、治療の一環として食事の提供を行っています。
 又、食品衛生に考慮した新調理方式（ニュークックチルシステム）を取り入れています。食事提供日前の計画調理となり、調理後品質を落とさないよう急速冷却を行い、細菌を増やさない温度（3℃）で保存し、味を染み込ませます。その後チルド状態で盛付けを行い、冷蔵室内で冷却され、配膳車でIH機能を備えたトレーと食器を使用して、温菜は再加熱されて温かく、冷菜は冷却を保ちながら適温適時で美しい食事が提供できるよう努めています。

行事食

毎月、季節感を味わえる行事食に、メッセージカードを添えてお届けしています。

1月	おせち料理・七草粥	5月	こどもの日	9月	敬老の日・秋の彼岸
2月	節分・バレンタイン	6月	開院記念日	10月	月見膳・ハロウィン
3月	ひな祭り・春の彼岸 佐久の日	7月	七夕・土用丑の日	11月	収穫祭
4月	花御膳	8月	お盆・佐久の郷土食	12月	クリスマス・冬至 年越し

出産お祝い膳



出産後、退院までにお祝い膳を提供しています。

ニュークックチルシステム（IHカート）



ローカーボ食（糖質制限食）



栄養相談



看護部

【かんばん】



Nursing Department

地域の皆さまから求められる

やさしい病院、
やさしさと思いやりの心が調和する
質の高い看護を目指して

看護部長 山浦 早苗



当院の看護部は『看護を必要とする人の意志を尊重し、専門的知識・技術に優しさと心が調和する看護を目指します。』という理念のもと、市立病院として、地域の皆さまから信頼され、親しまれ、求められる医療・看護を提供することを目指しています。急性期及び、在宅へ向けての支援にも力を入れ、“この病院で診て欲しい、看てもらって良かった”と思っただけの病院を目指し日々看護を実践しています。

新型コロナウイルス感染症と向き合って、4年が過ぎようとしています。医療を提供していく中でも、また日常生活を送るうえでも制限されることが多く、暗く、不安な気持ちになりがちな毎日でした。5月8日からコロナウイルス感染症が5類相当へと移行し、医療現場は大きく変化していきます。その中でも患者様のそばに一番長くいる私たち看護師は、専門職として感染対策を徹底しながら、寄り添い・支え続けるケア、時には代弁者となっていきたいと思っております。そのためには臨床の場で実践できる看護師を育成していくことが必要です。日常的な業務のほかに、専門職としての知識・技術の習得のみならず、院内外への研修参加支援、認定・専門資格・特定行為看護師資格への支援のほか専門職としての成長にも力を注いでいます。昨年度は認知症看護認定看護師・特定行為看護師が誕生しました。看護職という資格を持ち、チーム医療の一員として、医療が提供できることを誇りに『やさしさと思いやりの心が調和する質の高い看護の提供、そしてお互い成長し続ける事ができる組織を作っていく』ことが私の重要な役割ととらえ取り組んでまいります。

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア棟

介護療養医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

看護部の理念

私たち看護部は、病院の理念に基づき、看護を必要とする人の意思を尊重し、専門的知識、技術にやさしさと思いやりの心が調和する質の高い看護をめざします。

2023年度 看護部目標

- I 相手の立場を尊重し心のこもった接遇と倫理観を大切にした丁寧な看護を提供する
- II 自部署の管理（病床・患者）を適切に行い病院経営に参画する
- III 現状に合った方法を考えながら自己研鑽に努め、個々の力を発揮した、優しい職場づくりを行う

毎週火曜日の定例師長会の他に、
毎朝9：00～全師長が集まりベッドコントロールをはじめ
情報交換を行いながら、チーム医療の担い手として日々活動しています。



認定看護師・特定行為看護師紹介

がん性疼痛看護 認定看護師

寺尾 典子



がん患者さんをはじめ、緩和ケアを必要とする患者さんのさまざまな体や心の痛みが和らいでその人らしく充実した毎日をすごせるように支援をしていきたいと考えています。

慢性呼吸器疾患看護 認定看護師

井出 美子



長い療養生活を送る慢性呼吸器疾患の患者さんが、息切れなどを自分でコントロールしながら、その人らしく生活できる支援をしています。

糖尿病看護 認定看護師

丸山 友子



生涯にわたる糖尿病の療養生活の中での食事や薬、血糖コントロールやフットケアを通して、患者さん1人1人の生活に沿った支援をしていきたいと考えています。また糖尿病の最新情報などもタイムリーにお伝えしていきます。

脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師

柳澤 実佳



脳卒中は突然襲います。後遺症を最小限にするためには早期発見・早期治療が重要です。一人でも多くの方を脳卒中から守りたいと考えています。また、排尿障害のある患者さんを入院中から退院後まで、排尿自立へ導けるように排尿ケアチーム一丸となり指導とケアを実践しています。

感染管理 認定看護師

須田 美穂



感染に関する専門的知識を基盤に施設の状況に合った感染管理プログラムを構築し、病院に関わるすべての人を感染から守るよう活動しています。

認知症看護 認定看護師

篠原 綾子



65歳以上の方の5人に1人が認知症になると言われている現在、浅間病院にも認知症を持ちながら入院される方がたくさんいらっしゃいます。体調の悪化に加え、入院という環境の変化などにより、認知機能がさらに低下し、認知症の症状が悪化することがあります。認知症があっても安心して治療を受けることができる環境が提供できるように活動したいと考えています。

特定行為看護師

須江 大樹



手術室や救急外来、急性期病棟で医師と協働して処置などを行っています。看護師として常に患者さんの一番近くにいる事で、急な変化に気がつき、特定行為看護師として迅速な介入が行えるように活動しています。

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

各部署のご案内

病棟・外来等	ベッド数	専 門	資格等
看護副部長		たなか 田中 かおり (専従)	【教育担当】 看護部教育委員会、院内教育委員会、記録検討委員会、看護研究委員会、佐久大学他臨地実習担当、中・高校生職業・福祉体験及び院内見学受け入れ等担当しています。
//		やの ともこ 矢野 知子 (専従)	【業務担当】 安全管理委員会、褥瘡対策委員会、患者サービス委員会、地域活動委員会、SPD委員会、医療機器購入検討委員会他。
西6F	36	つちや 土屋 つや子	【産科・婦人科・小児科・耳鼻科・歯科などのレディース病棟(産婦人科外来担当)】 産前・産後ケアをはじめ、新生児ケアの充実に努めています。また、不妊治療・婦人科疾患手術などチームで支援する体制を整えています。
5F	50	ゆい ようこ 油井 洋子	【一般外科・耳鼻科・歯科・整形外科】 一般外科の他に手術適応となる整形外科・耳鼻科・歯科の患者さんのケアを行っています。他にがん性疼痛認定看護師の協力を得て、患者さんの苦痛軽減に努めています。
4F	50	やすだ 安田 さき枝	【一般内科・糖尿病科・循環器内科】 糖尿病センター・RST(呼吸サポートチーム)・DST(糖尿病サポートチーム)とチームを組んで、患者様のケアの充実に努めています。
3F	47	いで よしこ 井出 美子	【脳外科・整形外科・(整形外科外来担当)】 脳外科は緊急や紹介患者様を受け入れ、急性期の血管内治療や手術後の患者さんのケアを行っています。整形外科は、外傷を含め、加齢による疾患、あらゆる整形外科疾患の受け入れを行っています。脳外科、整形外科とともに、患者様の状態を優先して、緊急手術・治療が行われています。医師、リハビリ、NSW他、多職種と連携し早期回復を目指しています。
南3F	55	うえはら なおみ 上原 直美	【地域包括ケア病棟】 急性期治療が終了した患者様に対して、在宅復帰に向けた医療や支援を行う病棟です。医師・看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・栄養士・退院支援者とともに退院後のケアについて連携をとりながら支援していきます。在宅にて介護している方の負担軽減目的の短期入院についても御相談ください。
東3F	40 (休床中)	きくち ゆみこ 菊地 裕美子	【発熱外来・コロナ陽性患者対応】 入院などの対応をしています。
手術室	ベット数 7	おぎはら ひろえ 荻原 弘恵	患者・家族の不安が少しでも和らぎ安心して手術を受けれる環境を整え、思いに寄り添える看護の提供を努めています。
透析室	ベット数 20	おかむら さと子 岡村 さと子	血液浄化療法全般を行ない、主に血液透析治療を行っています。 ●月曜日～土曜日 午前・午後
外来 (一元化外来除く)		いわした かおり 岩下 香里	【1F】内科・循環器内科・スマート外来・禁煙外来・睡眠時無呼吸外来・発熱外来・コロナ対応 【2F】小児科・外科・耳鼻咽喉科・歯科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・心療内科
救急医療科	救急外来 ベット数 救急用2 観察用5	のむら まゆみ 野村 真由美	救急外来は通常の診療とは異なり、休日や夜間に緊急性のある患者様を対象に24時間365日、救急医療の提供を行っています。内視鏡検査、治療、心疾患、脳外科疾患に対するカテーテル検査、治療を行っています。
医療相談係		たなか りつこ 田中 律子	患者さん、御家族の方が安心して生活の場に帰れるよう、MSW(医療ソーシャルワーカー)とともに退院支援・調整を行なっています。 また予定入院の患者さんに対しては、専任の看護師が入院前から関わり、支援の強化や退院時の地域の関係者との連携を図っています。

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所
へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

医療安全管理室

【いりょうあんぜんかんりしつ】



Clinical Safety

■職種や部門を越えた医療安全対策に取り組んでいます！

当院の理念に基づき、『患者さんの安全を守り、組織をリスクから守る』ことを使命とし、2006年10月に医療安全管理室を設置して、当院医療安全管理指針に基づいて安全管理体制の確立と安全な医療の提供ができるよう活動しています。

医療安全管理室の業務

1) インシデント・アクシデント事例の収集、分析、改善策に関すること

電子カルテシステムに組み込まれたインシデントレポートシステムにて、院内の全部署からの事例を収集し、集計および分析をしています。事例の分析から改善課題を抽出しその結果をまとめ、「医療安全ニュース」「医療安全管理室ニュースレター」等を適宜発行し、重要な事例や安全対策を院内に公表し周知しています。

2) 他施設で発生した事故をもとにした当院での現場確認

当院においても事故の危険性がある場合は関係部門、医療安全推進委員会等で検討及び情報を伝達し、注意を喚起することで事故防止に努めています。

3) 研修会を企画・運営

全職員対象に年2回以上の研修会を開催しています。患者サービス委員会と共催した「接遇研修」他部門と連携した「新入職者研修」にも取り組んでいます。

4) 患者相談窓口

患者さんや御家族の皆さんから医療に関する苦情や相談、意見などに対応する体制を整えています。また、「心配なことや疑問」について、医事政策課、医療相談員等と連携を図り、対応・支援を行っています。

5) 安心・安全な医療環境に向けた院内暴力に対する対策

院内において暴言・暴力が発生した場合は、警察OB職員と連携を図り対策を行っています。また、警察OB職員は、暴言・暴力の被害者である職員との面談、腕章（防犯）を装着し、院内ラウンドを行うなど、安心・安全な医療環境を目指し共に活動を行っています。

6) 院内各部署の安全性保持についての評価

院長・副院長・看護部長・医療安全管理者等と医療安全管理担当スタッフで定期的に院内安全ラウンドを行い、その結果及び改善等を「医療安全ラウンド報告」として院内に公表しています。

7) 2018年度より『医療安全対策地域連携加算』を取得し、複数の医療機関とのネットワークの構築と、評価に伴う多くの意見を参考に医療安全の質向上に努めています。

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

医療安全管理室メンバー

室長	つのだ としはる 角田 俊治
専従医療安全管理者（看護師）	しまだ みわこ やじま ちかえ 島田 美和子 矢嶋ちか江
医療安全担当者（MSW）	ひざわ しょうご 樋沢 省吾

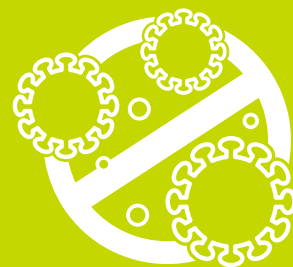
医療安全に係るメンバー

医療安全管理委員会	院長 医療安全管理室長（兼） 薬剤科長 医療安全管理者	副院長 診療部長 総務課長 医療安全担当者	事務長 看護部長
医療機器安全管理責任者	副院長		
医薬品安全管理責任者	薬剤科長		
医療放射線安全管理責任者	院長		

医療安全全国共同行動“いのちをまもるパートナーズ”に参加しています。



【かんせんせいぎょしつ】 感染制御室



Infection Control

■患者さんと職員を、院内感染から守る

感染制御室は浅間総合病院の院内感染対策を総合的、組織横断的に制御する中央部門として2013年に医療安全管理室から独立部門化し、感染制御チーム（Infection Control Team；ICT）が実働しています。

現在ICTは医師（ICD）、看護師（ICN）、薬剤師、臨床検査技師（細菌検査室）と多職種で構成されたメンバーが、それぞれの職種の専門性を活かしながら活動しています。

その活動は、患者さんならびに職員の安全を確保することを基本として、院内感染拡大の兆候をいち早く察知するための監視（サーベイランス）、感染症診療や感染予防対策・耐性菌対策などのコンサルテーション・指導、院内感染が発生した場合の迅速な対応、院内感染防止のための職員教育、職員ワクチン接種などを実施しています。

また、感染対策向上加算1地域の病院に指導的役割を果たしながら、東信地区・長野県・全国の院内感染対策会議にも積極的に参加しています。

2018年4月より抗菌薬適正使用支援チーム（Antimicrobial Stewardship Team；AST）の活動を開始し、院内において抗菌薬が適正に使用できるよう支援を行っています。

主な活動内容

1) 感染症サーベイランス

- 感染症発生の確認、感染経路の把握
- 院内環境の汚染状況、保菌者の把握
- 病院疫学情報の把握

2) コンサルテーション

- 感染症診療に関する相談
- 抗菌薬使用に関する相談
- 感染対策に関する相談

3) 感染拡大防止対策、予防策、職員衛生管理

- アウトブレイク対策
- 院内感染発生防止対策
- 針刺し・切創による血液・粘膜曝露対策

4) 職員ワクチン接種

5) 感染対策委員会（ICC）、感染対策チーム（ICT）の運営、リンクスタッフ会の指導

6) 院内ラウンド

- 院内環境ラウンド
- 感染症ラウンド
- 耐性菌ラウンド
- 抗菌薬適正使用ラウンド

麻酔科

病理診断科

総合診療科

診療所・へき地診療所

地域包括ケア病棟

介護療養型医療施設

手術部

医療技術部

看護部

医療安全管理室

感染制御室

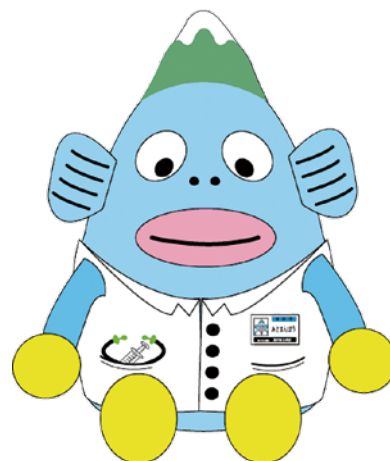
7) マニュアルの作成・改定・整備

8) 教育・啓発活動


- 講演会／講習会（院内、招聘）
- 院外講演会／講習会
- 学術集会発表

9) 院外ネットワークの構築

- 他施設、地域医療との連携
- 行政機関との協議会
- 院外からの相談窓口



感染制御室・ICTのメンバー

 たかはま みき 高濱 充貴	感染制御室長 内科部長（総合診療科）
すだ みほ 須田 美穂	感染制御室専門員・感染管理認定看護師・ICN
いで よしこ 井出 美子	看護師長
おかむら さとこ 岡村 さと子	看護師長
はたけやま ひるあき 畠山 浩明	薬剤師・感染制御認定薬剤師
こばやし さとる 小林 訓	臨床検査技師・抗酸菌登録エキスパート

【びょういんがいよう】 病院概要



沿革

土地の面積・
建物の構造・面積

職員数

組織機構図

受診患者数

主要医療機器

1 沿革

昭和	32.	2	北佐久郡町村議会議員大会において公的総合病院建設議案を決議される
	33.	5	旧浅間町外3町7ヶ村の一部事務組合 (北佐久郡国民健康保険直営浅間病院組合) 設立許可される
		10	浅間病院新築工事に着手、本館(管理、診療、病室) 1棟927.3㎡、給食棟その他付属建物2棟214.5㎡、計1,141.8㎡、34年4月完成
	34.	4	院長 吉澤國雄 東京大学医学部冲中内科より就任
		6	開院、診療科目(内科、外科、小児科、産婦人科、眼科) 入院施設、一般病床20床
		12	整形外科専門医師の派遣を得て診療開始 併設伝染病棟新築工事に着手455.4㎡、収容人員23床、35年4月完成
	35.	6	長野県公的医療機関設備審議会において一般病床45床増床が決定、一般病床65床となる
		11	新病棟鉄筋コンクリート2階建1棟1,158.3㎡の建築工事に着手、36年4月完成
	36.	4	町村合併により佐久市発足、病院名称の改称認可(佐久市北佐久郡国民健康保険浅間病院) される
		8	耳鼻咽喉科新設
	37.	4	労災保険指定医療機関に指定される
		6	基準給食承認される
	38.	6	佐久市鳴瀬診療所の診療委託を受託
	39.	4	佐久市東診療所の診療委託を受託
		9	指導棟鉄筋コンクリート2階建320㎡建築工事に着手、40年3月完成
	40.	7	一般病床35床増床認可により、一般病床100床となる
	41.	1	総合病院として認可される 救急病院に指定
		7	看護師宿舎鉄筋コンクリート2階建建築工事に着工、42年1月完成
		8	神経内科、老人科、循環器科専門医師の派遣を得て診療開始
	42.	3	一部事務組合の解散議決
		4	佐久市立国保浅間総合病院発足 依田勇雄 佐久市長が開設者として就任
		5	佐久市平尾診療所の診療委託を受託
		10	歯科診療棟、鉄筋コンクリート2階建330㎡完成
		11	歯科診療開始
	43.	2	泌尿器科設置
	43.	4	公営企業法一部(会計)適用
	44.	6	院長 吉澤國雄 院長を辞任し顧問に就任
		7	副院長 福内匡 院長に就任

昭和	45. 10	一般病床50床、結核病床25床増床認可により、一般病床150床となる
	46. 3	全面新築工事に着手、鉄筋コンクリート 5階建7,357.93㎡、47年7月完成
	48. 10	講堂、図書室502㎡完成
	49. 4	病院乳幼児保育所開設
	7	健康管理科設置
	50. 1	顧問 吉澤國雄 名誉院長に就任 基準看護特2類変更承認される
	51. 9	第28回「保健文化賞」受賞
	11	東棟増築工事に着手、鉄筋コンクリート 3階建3,317㎡、52年7月完成
	52. 4	神津武士 佐久市長が開設者として就任
	7	麻酔科設置
	12	一般病床100床増床認可により一般病床250床となる
	56. 4	へき地中核病院に指定
	6	へき地診療所（香坂東地、協西地区、蓼科地区）3診療所開設
	11	院外処方箋開始
	57. 10	重度心身障害者歯科診療開始
	58. 3	在宅訪問看護開始
	6	寝たきり老人歯科巡回診療開始
	11	正面玄関及び医事課事務室増築工事に着手、59年2月完成
	12	院長 福内匡 死亡により退職
	59. 4	副院長 倉澤隆平 院長に就任
	6	南病棟増築工事に着手、鉄骨鉄筋コンクリート 3階建6,300㎡ 60年3月完成（1階外来診察室・検査室・2階手術室・3階病棟）
	60. 5	南病棟開院。神経科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・理学診療科・放射線科の6科を新設、 一般病床60床の増床認可により一般病床310床となる（結核病床25床合わせて計335床）
	10	西棟・東棟の改築工事が完成、増改築事業の竣工式挙行
	11	院内総合案内所開設
	12	在宅酸素療法施設として承認
	61. 3	心疾患基幹病院として県知事より要請される
	6	院内食堂開設
	62. 5	エネルギー供給設備改善工事に着手、63年2月完成
平成	1. 4	三浦大助 佐久市長が開設者として就任
	5	基準看護特3類変更承認される（6病棟 262床）
	7	開院30周年記念式典及び病院祭開催
	10	人工透析室新設工事に着手、2年3月完成
	1. 11	老人保健施設建築工事に着手、入所50床、通所5床、1,712.68㎡、2年4月完成
	2. 4	人工透析室稼働開始
	5	南棟4階に老人保健施設「みすず苑」開所
	3. 5	全国自治体病院開設者協議会・同自治体病院協議会表彰
	4. 6	一般病床310床、基準看護特3類に承認
	9	看護師寮改築建設工事に着手（鉄筋コンクリート 2階建 14室668㎡）5年3月完成

平成	5.	1	南棟ピロティ部分事務室増設 (223㎡)
	5		週40時間勤務制実施
	10		自動再来受付機開始
	6.	3	MR I 室建設 (159㎡) MR I 稼動
	4		毎月第4土曜日休診開始 機構改革—臨床検査科、栄養科、医事課に係を増設
	7		開院35周年記念病院祭開催
	10		入院時食事療養費一部負担の導入 一般病床310床 新看護2:1(A)承認
	7.	2	阪神淡路大震災被災地に看護職員(4名)を派遣
	5		自治体立優良病院として「自治大臣表彰受賞」
	8.	4	夜間勤務等看護加算承認 (1) a5病棟、(1) b2病棟
	9.	3	歯科口腔外科新設 理学診療科をリハビリテーション科に改称
	4		土曜日を完全休診日とする 地域医療室を設置
	6		へき地診療所(望月町協西地区)廃止
	7		全面院外処方の実施
	10		インターネットホームページを開設
	11		財団法人日本医療機能評価機構から一般病院種別Bの認定を受ける
	10.	5	院長 倉澤隆平 院長を辞任
	6		副院長 宮崎雅之 院長に就任 前院長 倉澤隆平 名誉院長に就任
	7		病床数の変更 一般病床323床 結核病床12床(計335床)
	10		療養型病床群33床設置(一般病床290床・療養病床33床・結核病床12床)
	12		療養型病床群使用開始 新看護2:1(A)承認(結核病床12床含)
	12		夜間勤務等看護加算承認 1 a5病棟、1 b2病棟 療養型病床群療養環境(1)、療養二群入院医療管理(1)承認
	12		院内感染防止対策承認、重症皮膚潰瘍管理加算承認
	11.	3	指定老人訪問看護事業者の指定申請許可
	4		地域医療部設置、訪問看護ステーションあさま開所
	7		開院40周年記念病院祭開催
	12.	4	指定居宅介護支援事業所設置、介護療養病床8床設置 (一般病床290床・療養病床33床・結核病床12床・介護療養病床8床 計343床)
	8		医療連携室を設置
	13.	3	東診療所廃止
	14.	4	病院建築係の設置 言語聴覚療法(II)承認、人工関節置換術承認、肺切除術及び気管支形成を伴う肺切除術承認、歯周疾患継続治療診断料承認
	10		医療安全管理体制承認、褥瘡対策承認 遠隔医療推進事業スタート

平成 15.	3	人工透析室増設 病院整備事業基本構想策定
	4	病床数の変更 結核病床12床廃止（一般290、療養33、介護8計331床） 病院建築室の設置、会計課を総務課に統合
	5	財団法人日本医療機能評価機構の再審査でVer4 を認定（認定GB12-2号） 病院モニター会議を設置
	6	更年期外来を設置
	8	診療情報の提供に関する指針策定
	9	ケアミックス型の病院として一般病床250床、医療療養型病床33床、介護療養病床40床とする（計323床）
	10	病院内全館禁煙とする
16.	3	旧病棟、旧特別養護老人ホーム「相生荘」解体 病院整備事業実施設計策定
	4	放射線科、臨床検査科の当直体制開始 新医師臨床研修制度開始に伴い東大附属病院より研修医2名受け入れ
	6	頭痛・もの忘れ外来設置
	7	病院45周年記念病院祭開催
	12	新西棟建築起工式挙行、新西棟鉄筋コンクリート地下1階地上6階建12,475㎡建築工事に着手、18年8月完成
17.	4	市町村合併に伴い新佐久市の「市立国保浅間総合病院」として設置 禁煙外来・健康支援外来設置 歯科医師臨床研修制度開始に伴い、歯科研修医1名を受入 東大附属病院研修医3名を受入 開放型病院として開放病床5床を設置
	10	御牧原地区で遠隔医療事業開始
18.	3	院長 宮崎雅之 院長を辞任
	4	副院長 仲井淳 院長職務執行者に就任 佐久市中部包括支援センターを市より受託し設置
	8	新西棟完成
	10	新西棟開院 電子カルテ、オーダリングシステムを基幹とする医療情報システムを稼動 救急医療部救急医療科を設置し、救急処置室を24時間職員配置体制とする 医療安全管理室を設置 脳卒中センターを設置し、脳卒中ホットラインを整備 市の子育て支援事業である「病児保育」を受託し受け入れを開始する
18.	11	脳ドック開始
19.	1	院長 北原信三 東邦大学医学部（乳腺内分泌外科）より就任
	4	浅間総合病院管理型研修医2名 東大附属病院より研修医4名を受入、 浅間総合病院単独型歯科研修医1名を受入 国保浅科診療所に医師派遣開始 病床数変更 一般病床243床 医療型療養病床40床 介護型療養病床40床とする
	5	旧西棟解体工事に着手 病院敷地内全面禁煙
	9	旧西病棟解体・撤去工事完了し、外構整備工事着手

平成	19.	11	財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価（Ver5.0）認定（認定第GB12-3号）
	20.	3	建築付帯建物建設工事完了 外構整備工事完了 医療情報システム構築業務完了 平成14年度より進めてきた浅間総合病院整備事業の竣工式典が挙行される
		4	布施出張診療所に医師派遣開始
		7	入院医療費にDPCを導入 佐久大学看護学科実習生受入れ（実習）開始
		11	初代院長 吉澤國雄先生 死去 世界糖尿病デーに病院ライトアップで参加をはじめめる
		12	世界的流行に備え、「新型インフルエンザ対策検討チーム」設立
	21.	1	「吉澤國雄先生を偲ぶ会」及び「吉澤國雄先生を語る会」を執り行う
		3	「佐久市立国保浅間総合病院改革プラン」を策定
		4	柳田清二 佐久市長が開設者として就任
		6	開院50周年記念連続講演会を開催（全11回）
		7	開院50周年記念病院祭開催
		8	一般病棟入院基本料の区分において「10対1」から「7対1」に移行
	10		「佐久地域休日小児科急病診療センター」が当院内科外来診察室に開設される 院長 北原信三 院長を辞任
	11		診療部長 村島隆太郎 院長に就任 副院長 2人体制となる
		12	禁煙外来を設置
	22.	1	小諸厚生総合病院 医師臨床研修プログラムの協力病院となる（産婦人科）
		4	地方公営企業法の全部適用に移行 院長 村島隆太郎 佐久市病院事業管理者に就任 大規模な診療報酬改定（10年ぶりの0.19%ネットプラスの点数改定となる）
		7	佐久総合病院再構築にむけた三者協定書を締結（佐久医師会・浅間総合病院・佐久総合病院）
		8	睡眠時無呼吸外来（SAS）を開設
	10		病院職員定数条例を340から370に改正 「平日夜間急病診療センター」が当院内科外来診察室に開設される
	11		SCU（超急性期脳卒中病床3床）を整備 櫻山 高志・徹 様より訪問看護車両2台が寄付される
	23.	2	医療費等支払いにカード払いを導入
		3	遠隔医療推進事業が市の事業仕分けによる見直しにより廃止 3.11 東日本大震災の被災地大船渡市（銀河連邦友好都市）に、医療支援班4班（延べ20人）を派遣（3/14～3/29） 病院第二次整備事業の基本設計を策定
		6	感染制御室を設置 当院看護師が、がん性疼痛認定看護師・緩和ケア認定看護師に認定される
		9	乳房再建外来を開設
	11		世界糖尿病デーに佐久平駅のライトアップを行う 弁護士法人病院医業未収金管理回収業務委託開始

平成	24.	4	医事課を医事政策課に改称
	11		公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価 (Ver6.0) 認定 (認定第GB12-4号) がん哲学外来浅間対話カフェ開始
	12		新院内保育所完成 内視鏡室を3室から4室に整備
	25.	4	診療材料管理システム (SPD) 稼働
	6		糖尿病看護認定看護師資格の取得
	7		電子カルテ、オーダリングシステムを基幹とする 医療情報システムの更新
	9		第二次整備事業先行工事着手
	10		未収金回収体制の強化とマニュアルの整備
	26.	3	第二次整備事業先行解体工事着手
	4		院長 村島隆太郎 佐久市病院事業管理者に再任
	5		開院55周年記念連続講演会 (全11回)
	6		慢性呼吸器疾患看護認定看護師資格の取得
	7		第二次整備事業新中央棟建設工事着手 開院55周年記念病院祭開催
	27.	9	医療型療養病床40床休床 3者通話の救急ホットラインを導入
	10		第二次整備事業1期工事完了により、新給食システム (ニュークックチルシステム) 稼働
	28.	3	「保健・医療のつばさ事業」覚書に調印
	4		手術部を創設、技術部を医療技術部に改称
	29.	1	第二次整備事業新中央棟建設工事竣工
	3		第二次整備事業新中央棟開院式典 佐久市立国保浅間総合病院改革プラン策定完了
	8		地域包括ケア病棟開設55床 一般病床238床、医療型療養病床40床 (休床)、介護型療養病床40床とする
	10		医療型短期入所サービス (レスパイトケア) 開始
	11		公益財団法人日本医療機能評価機構から病院機能評価 (3rdG:Ver1.1) 認定 (認定第GB12-5号)
	30.	3	介護老人保健施設「みすず苑」閉所
	4		院長 村島隆太郎 佐久市病院事業管理者に再々任
	31.	4	病床数の変更 医療型療養病床40床廃止、一般238床、介護型療養病床40床とする
令和	1.	7	開院60周年記念病院祭開催
	2.	8	南棟改修工事着手
	3.	6	心臓血管造影室増築工事着手
	4.	3	院長 村島隆太郎 佐久市病院事業管理者及び院長を退任 南棟改修工事竣工 心臓血管造影室増築工事竣工
	4		副院長 箕輪隆 佐久市病院事業管理者及び院長に就任 前院長 村島隆太郎 名誉院長に就任
	5.	5	介護型療養病床40床休床

2 土地の面積、建物の構造、面積

(1) 敷地面積 35,092.59㎡ 位置 東経138°28' 19" 北緯36°16' 02"

(2) 建物の構造、面積

区分	名称	構造	面積	摘要
病院	西棟	鉄筋コンクリート地下1階地上6階建	12,658	
	東棟	鉄筋コンクリート3階建	3,293	
	南棟	鉄骨・鉄筋コンクリート4階建	7,755	
	中央棟	鉄筋コンクリート4階建(4階)	6,981	
計			30,687	
附属施設	職員住宅	鉄筋コンクリート2階建	668	14室
	医師住宅	木造平屋建	313	4戸
		木造2階建	298	3戸
		鉄筋コンクリート2階建	234	4戸
	乳幼児保育所	木造平屋建	300	1戸
	病児保育所	木造平屋建	71	1戸

(3) 建物の構造、面積

名称	区分	階	用途		
西棟 病棟	管理診療棟	1	内科、眼科、整形外科、救急・時間外診察・処置室、放射線科、内視鏡室、MRI室(CT)、核医学検査室、採血室、薬剤科、事務室(医事政策課)、玄関、防災センター、ボイラー室、機械室		
		2	外科、小児科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、心療内科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科・歯科口腔外科、臨床検査科、食堂、売店、電話交換室、電気室		
	3	1床病室	5		
		1床病室(重症病床)	3		
		3床病室	1		
		4床病室	9	計47床	
		病棟食堂・家族控室、デイルーム、面談室、浴室・介助浴室、洗濯室、リネン庫、器材庫、スタッフステーション			
	4	1床病室	3		
		1床病室(重症病床)	2		
		2床病室	1		
		3床病室	1		
		4床病室	10	計50床	
	病棟食堂・家族控室、デイルーム、面談室、浴室・介助浴室、洗濯室、シャワー室、リネン庫、スタッフステーション				
	5	1床病室	5		
		1床病室(重症病床)	2		
		3床病室	1		
		4床病室	10	計50床	
	病棟食堂・家族控室、デイルーム、面談室、浴室、洗濯室、シャワー室、リネン庫、器材庫、スタッフステーション				
	6	1床病室	11		
		2床病室	1		
3床病室(未熟児室)		1			
4床病室		5	計36床		
病棟食堂・家族控室、デイルーム、診察・処置室、面談室、浴室、洗濯室、シャワー室、リネン庫、器材庫、スタッフステーション					
			病床計	183床	

名称	区分	階	用途		
東棟	管理診療棟	1	会議室		
		2	倉庫		
	病棟	3	介護型療養病棟		
			2床病室	4	計40床 (休床)
			4床病室	8	
病棟食堂、洗面所・洗濯室、介助浴室、リネン庫、スタッフステーション					
			病床計 40床 (休床)		
南棟	管理診療棟	1	血液透析室、リハビリテーション科		
		2	在宅支援室、訪問看護ステーションあさま（在宅）、居宅介護支援事業所（在宅）、健康管理係、地域医療室		
		3	看護部長室、看護師長室、読影室、面談室、理美容室、多目的室、感染制御室		
		4	医療安全管理室		
	病棟	3	1床病室	2	
			1床病室（重症病床）	2	
			3床病室	1	
			4床病室	12	計55床
			病棟食堂、浴室、介助浴室、デイルーム、洗面所・洗濯室、リネン庫、スタッフステーション		
				病床計 55床	
中央棟	管理診療棟	1	栄養科、調理室、糖尿病センター（通称）、外来通院治療室、医療福祉連携室		
		2	中央手術室、中央材料室、臨床工学室		
		3	医局、中央病歴管理室、医局会議室、MA室、用度倉庫、用度事務室、図書室		
		4	講堂、院長室、心接室、副院長室、地域医療部長室、救急医療部長室、診療部長室、医療技術部長室、手術部長室、看護部長室、参事室、事務長室、総務課		
			病床合計 278床		

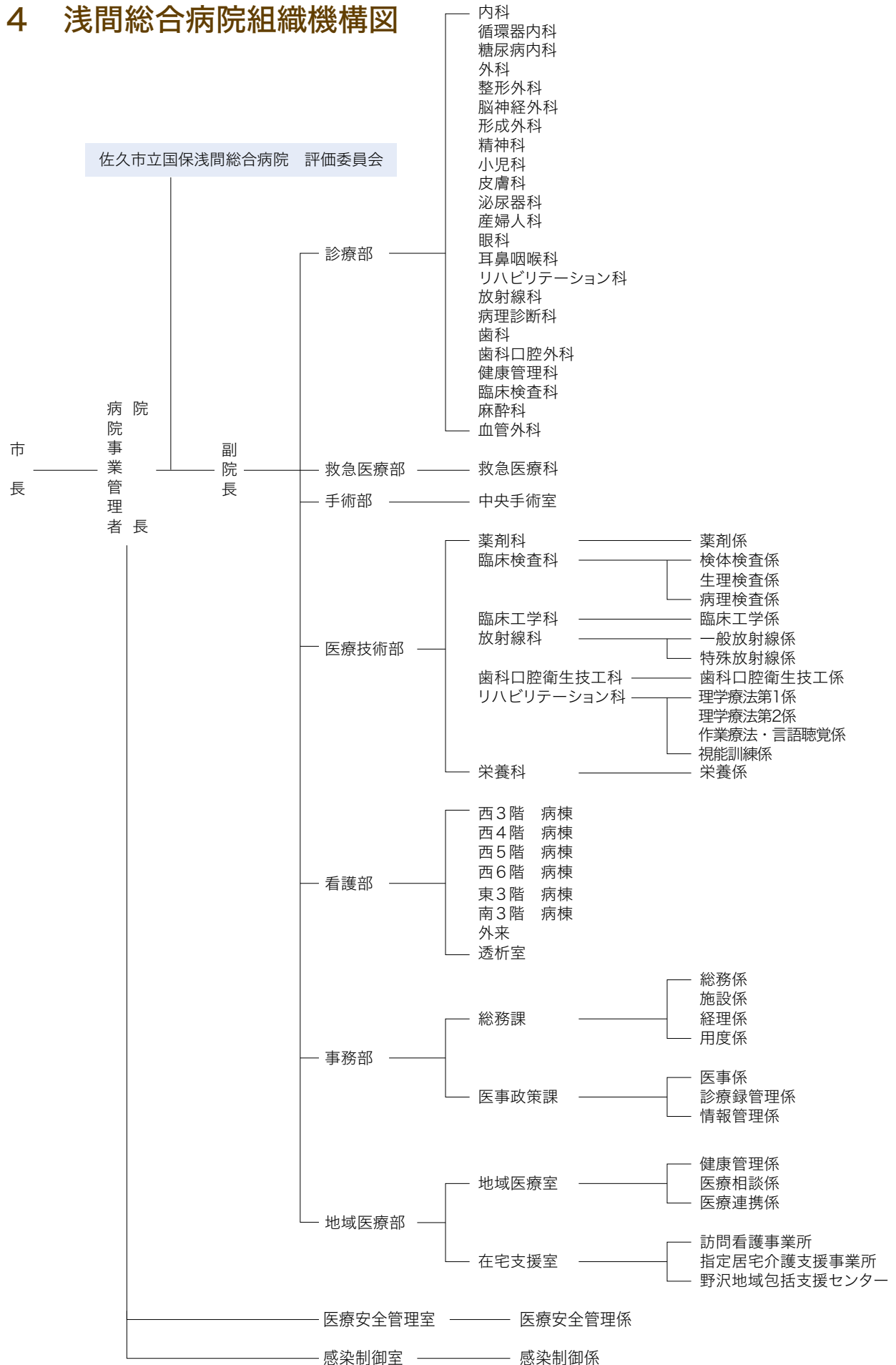
3 職員数

令和5年4月1日現在

部門・職種		人数
診療部門	医師	37
	歯科医師	3
	研修医	9
薬剤部門	薬剤師	15
看護部門	看護師	189
	助産師	29
	介護福祉士	15
放射線部門	診療放射線技師	11
検査部門	臨床検査技師	19
リハビリ部門	理学療法士	21
	作業療法士	10
	言語聴覚士	3
	視能訓練士	3
給食部門	管理栄養士	5
歯科衛生士		4
歯科技工士		2
臨床工学技士		8
診療情報管理士		6
医療相談員（社会福祉士）		5
主任介護支援専門員		2
事務部門		29
医療安全管理室		3
感染制御室		1
合 計		429

常勤医師各科別人数	人数
内科	4
循環器内科	1
小児科	4
外科	7
整形外科	7
脳神経外科	1
麻酔科	1
産婦人科	4
眼科	2
耳鼻咽喉科	2
皮膚科	1
歯科	3
健康管理科	1
総合診療科	1
病理診断科	1
研修医	9
合 計	49

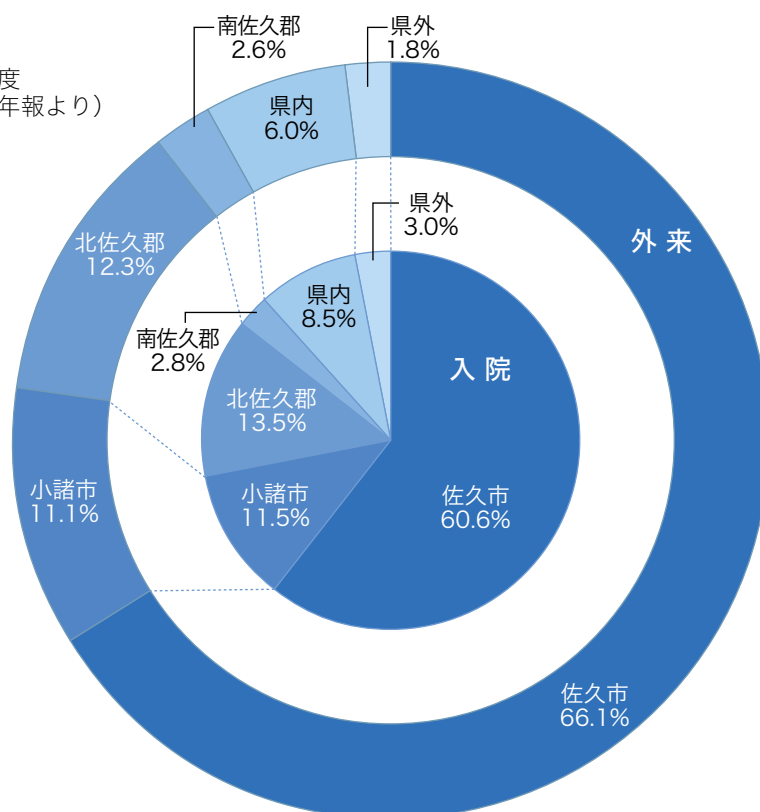
4 浅間総合病院組織機構図



5 受診患者数

(1) 診療圏

(令和4年度
病院業績年報より)



(2) 年度別患者数の推移

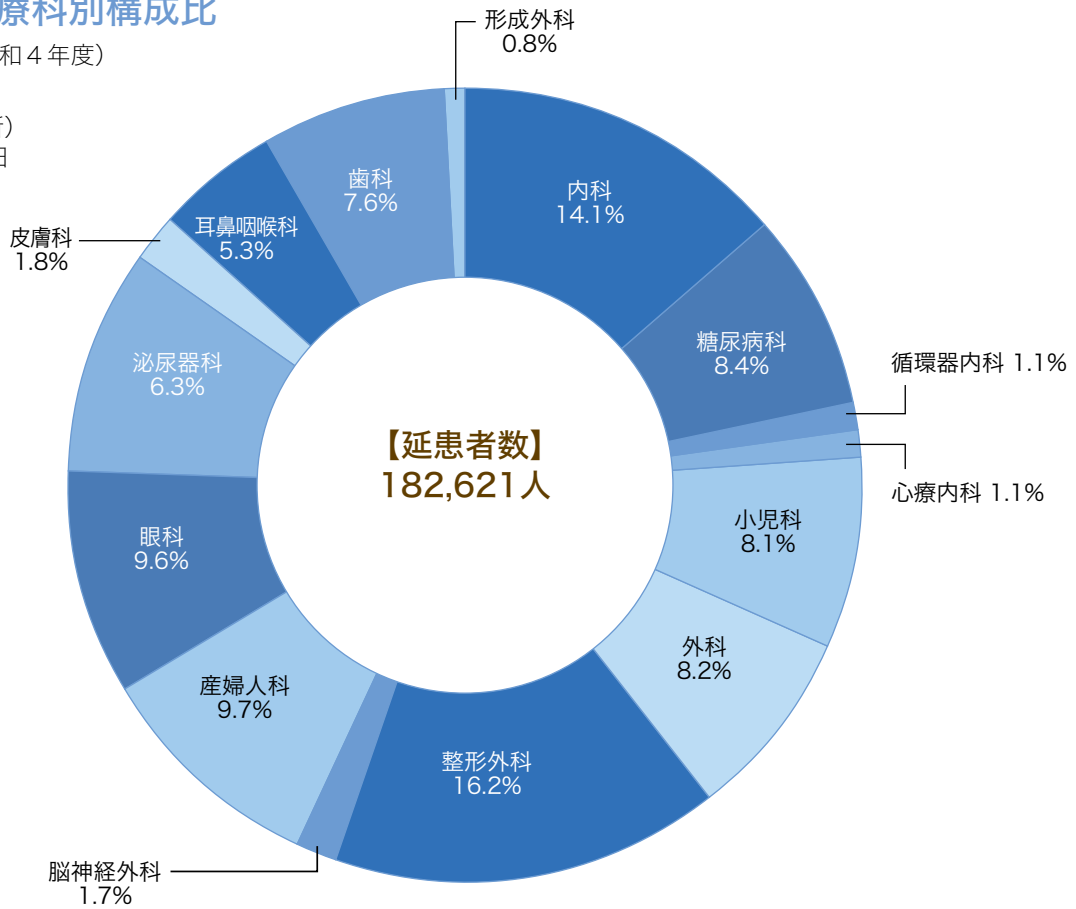
	入 院				外 来			1日平均患者数 (人)
	延患者数 (人)	1日平均患者数 (人)	病床稼働率 (%)	一般病床稼働率 (%)	延 患 者 数			
					病院 (人)	診療所 (人)	計 (人)	
9年度	94,956	260.2	77.7	82.1	249,219	5,437	254,656	1,030.8
10年度	102,204	280.0	83.6	85.3	258,283	5,072	263,355	1,071.7
11年度	101,252	276.6	82.6	84.4	262,263	4,864	267,127	1,091.6
12年度	102,941	282.0	84.2	84.4	263,123	4,395	267,518	1,074.9
13年度	98,842	270.8	80.8	82.5	265,611	2,599	268,210	1,094.7
14年度	99,459	272.5	81.3	82.0	249,892	2,764	252,656	1,031.2
15年度	102,603	280.3	86.8	85.6	234,798	2,616	237,414	965.1
16年度	99,793	273.4	84.6	83.0	214,899	1,974	216,873	892.5
17年度	103,868	284.6	88.1	86.9	215,368	1,622	216,990	996.7
18年度	99,369	272.2	86.2	84.7	210,804	1,178	211,982	970.8
19年度	97,121	265.4	82.2	83.9	204,650	1,110	205,760	942.3
20年度	87,257	239.1	74.0	78.2	198,405	1,146	199,551	914.5
21年度	92,119	252.4	78.1	82.1	210,863	1,008	211,871	979.9
22年度	94,343	258.8	80.0	84.1	219,639	833	220,472	1,008.4
23年度	96,919	264.8	82.0	87.1	220,901	748	221,649	1,005.4
24年度	95,148	260.7	80.7	86.3	207,618	673	208,291	934.8
25年度	92,355	253.0	78.3	85.1	199,765	611	200,376	896.1
26年度	88,563	242.6	75.1	81.4	189,377	558	189,935	889.3
27年度	84,825	231.8	71.8	82.1	195,910	510	196,420	930.2
28年度	83,578	229.0	70.9	83.2	211,539	485	212,024	973.4
29年度	83,729	229.4	71.8	83.5	211,274	397	211,671	967.9
30年度	81,301	222.7	70.0	81.8	204,571	343	204,914	938.1
令和元年度	80,378	219.6	79.0	81.3	205,101	323	205,424	920.3
令和2年度	72,687	199.1	71.6	73.8	173,234	277	173,511	802.3
令和3年度	76,974	210.9	75.9	79.1	181,327	263	181,590	831.9
令和4年度	70,438	193.0	69.4	74.5	182,621	231	182,852	830.3

(3) 診療科別構成比

(令和4年度)

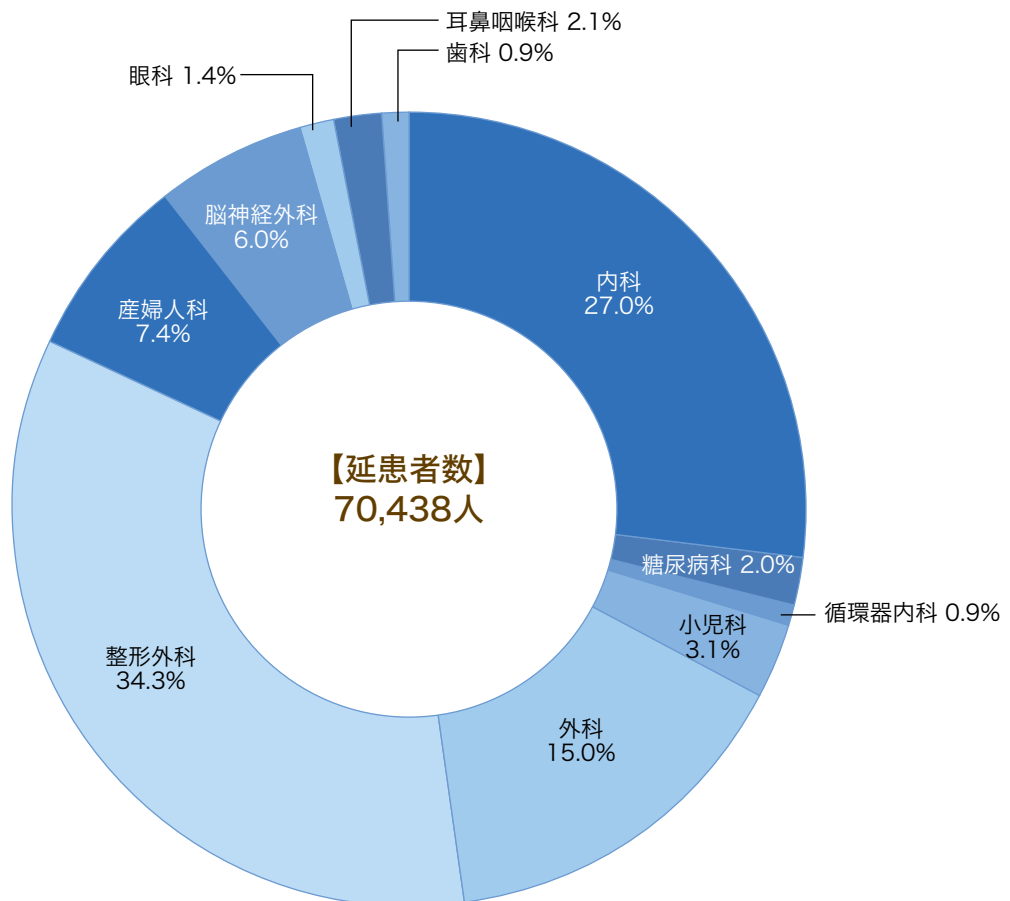
■ 外来

(除く・診療所)
稼働日数243日



■ 入院

稼働日数365日



6 主要医療機器 (取得価格 500万円以上)

科名	名称	銘柄	数量	購入年度
眼科	自動視野計	(株)リッツ・メディカル	1台	平10
泌尿器科	ウロダイナミクス検査装置	マンソン	1台	平10
内視鏡	内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ(株)	1式	平15
眼科	マルチカラーレーザー光凝固装置	(株)ニデック	1台	平16
外科	腹腔鏡手術モニターシステム	オリンパスメディカルシステムズ(株)	1式	平16
検査科	超音波診断装置	日本光電工業(株)	1式	平17
内視鏡	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	2台	平17
放射線科	MRI・アンギオ	(株)フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ	1式	平18
歯科	歯科用X線装置	(株)モリタ製作所	1式	平18
歯科	歯科用セントラルバキュームシステム	(株)東京技研	1式	平18
放射線科	一般撮影室一般撮影装置Ⅰ	(株)島津製作所	1式	平18
放射線科	一般撮影室一般撮影装置Ⅱ	(株)島津製作所	1式	平18
放射線科	一般撮影室一般撮影装置ⅢTV	(株)島津製作所	1式	平18
病棟	医用テレメーター	日本光電工業(株)	5台	平18
耳鼻科	オリンパス耳鼻咽喉科内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ(株)	2式	平18
検査科	「臓器保存室」切出台	白井松器械(株)	1式	平18
検査科	「解剖室Ⅱ」灯蛍光灯	白井松器械(株)	1式	平18
検査科	「解剖室Ⅰ」解剖台	白井松器械(株)	1式	平18
検査科	「霊安室・遺体処置室」遺体冷蔵室	白井松器械(株)	1式	平18
検査科	自動固定包埋装置	サクラファインテックジャパン(株)	1式	平18
耳鼻咽喉科	診療ユニットバリエーション	永島医科器械(株)	1式	平18
透析室	日機装透析システム	日機装(株)	1式	平18
内視鏡	第三内視鏡室NBⅠビデオシステム	オリンパスメディカルシステムズ(株)	1式	平19
内視鏡	上部消化管汎用ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ(株)	1式	平19
眼科	手術用顕微鏡一式	カールツァイス社	1式	平19
中材室	ワッシャーディスインフェクター	ゲティング社	2基	平19
検査科	オーソオートビュー(自動輸血検査システム)	オーソ・クリニカルダイアグノステックス(株)	1台	平19
泌尿器科	ウロダイナミクスシステム「ソーラー」	Medical Measurement Systems	1台	平19
検査科	全自動錠剤分包機	トーショー	1台	平20
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科用治療ユニット	永島医科器械(株)	1式	平22
整形	アルファスター万能手術台	村中医療機器(株)	1式	平22
臨床工学科	人工呼吸器	コヴィディエンジャパン(株)	2台	平22
外科	超音波内視鏡 一式	オリンパスメディカルシステムズ(株)	1式	平22
眼科	無散瞳・散瞳一体眼底カメラ	興和株式会社	1式	平22
眼科	コンステレーションビジョンシステム	日本アルコン(株)	1式	平23
看護部	ベッド	パラマウントベッド(株)	20台	平23
検査科	肺機能検査システム	チェスト(株)	1式	平23
病棟	医用テレメータ	日本光電工業(株)	1式	平23
臨床工学科	血液浄化装置	旭化成メディカル(株)	1式	平24
産婦人科	超音波診断装置	持田シーメンスメディカルシステムズ(株)	1式	平24
脳神経外科	術中血管観察モジュール	カールツァイスメディテック(株)	1式	平24
小児科	超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン(株)	1式	平24
中央手術室	マイクロサージェリー手術台	瑞穂医科工業(株)	1台	平24
救急医療	生体情報モニター	(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン	1式	平24
眼科	ウェーブフロントアナライザー	(株)トプコン	1式	平25
南3階	セントラルモニター(生体情報モニタ)	日本光電工業(株)	2式	平25
検査科	脳波計	日本光電工業(株)	1式	平26
検査科	グリコヘモグロビン/グルコース分析装置	アークレイ(株)	2式	平26
脳神経外科	筋電計	日本光電工業(株)	1式	平26
眼科	眼科用レーザー光凝固装置	(株)リッツメディカル	1式	平26
整形外科	整形外科手術機器	メドトロニックソファモアダネック 他	1式	平26

科名	名称	銘柄	数量	購入年度
検査科	多項目自動血球分析装置	シスメックス(株)	1式	平27
透析室	多人数用透析液供給装置	日機装(株)	1式	平27
検査科	汎用超音波画像診断装置	東芝メディカルシステムズ(株)	1式	平27
中央手術室	手術台アクセサリ(アレンスパイナルシステム)	村中医療機器(株)	1式	平27
整形外科	整形外科手術機器	メドトロニックソファモアダネック 他	1式	平27
放射線科	全身用マルチスライスCT装置	東芝メディカルシステムズ(株)	1式	平27
放射線科	MRIアップグレード	東芝メディカルシステムズ(株)	1式	平27
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉用ビデオシステム	オリンパス(株)	1式	平28
検査科	全自動輸血検査システム	オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)	1式	平28
中央手術室	内視鏡カメラシステム	カールストルツ・エンドスコピー	2式	平28
中央手術室	ウォッシャーディスインフェクター	ゲッティング・グループ・ジャパン(株)	3式	平28
中央手術室	超音波手術器(ソノペット)	日本ストライカー(株)	1式	平28
中央手術室	中央材料室機器システム2槽シンク	(株)アスカメディカル	1式	平28
中央手術室	中央材料室機器システム乾燥機	三浦工業(株)	1式	平28
中央手術室	中央材料室機器RO水製造装置	東洋紡エンジニアリング(株)	1式	平28
中央手術室	中央材料室機器超音波レビテーション	(株)アスカメディカル	1式	平28
中央手術室	中央材料室機器減圧沸騰洗浄器	三浦工業(株)	1式	平28
中央手術室	中央材料室機器ウォッシャーディスインフェクター	ゲッティング・グループ・ジャパン(株)	3式	平28
中央手術室	中央材料室機器高圧蒸気滅菌器	三浦工業(株)	2式	平28
中央手術室	中央材料室機器ハイスピード滅菌器	三浦工業(株)	1式	平28
中央手術室	手術室無影灯シーリングペンダント	山田医療、美和医療(株)	7式	平28
中央手術室	整形外科用OPE台	ゲッティング・グループ・ジャパン(株)	1式	平28
中央手術室	外科用OPE台	ミズホ(株)	1式	平28
中央手術室	産婦人科用OPE台	(株)竹内製作所	1式	平28
中央手術室	手術室映像システム	(株)メディプラス	1式	平28
外来通院治療室	安全キャビネット	(株)日立産機システム	1式	平28
中央手術室	麻酔器	GEヘルスケア・ジャパン(株)	2式	平28
中央手術室	電気メス	(株)アムコ	2式	平28
中央手術室	生体情報モニター	日本光電工業(株)	2式	平28
外来通院治療室	化学療法室セントラルモニター	日本光電工業(株)	1式	平28
臨床工学科	ME機器管理システム	(株)メッツ	1式	平29
検査科	腹部超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン(株)	1式	平29
総務課	SPD物品管理システム	(株)イーエヌディー	1式	平29
透析室	多用途透析監視装置	日機装(株)	2台	平30
手術室	X線透視診断装置	メドトロニック(株)、GEヘルスケア・ジャパン(株)	1式	平30
内視鏡	内視鏡カメラ	オリンパス(株)	1式	平30
手術室	体外受精システム	オリンパス(株)、アステック	1式	平30
手術室	手術台	マッケ・ジャパン(株)	1台	平30
放射線科	デジタルX線TVシステム	(株)島津製作所	1台	平30
検査室	超音波診断装置(心エコー)	キャノンメディカル(株)	1台	平30
産婦人科	顕微授精システム	オリンパス(株)	1台	令元
手術室	カメラシステム	日本ストライカー(株)	1台	令元
透析室	個人用多用途透析装置	日機装(株)	1台	令元
検査科	プレパレート自動染色封入システム	サクラファインテックジャパン(株)	1台	令元
放射線科	AZEバーチャルプレイス風神アップグレード		1式	令2
放射線科	マンモサーバー・専用ビューア2セットリプレイス		1式	令2
臨床検査科	全自動血液凝固測定装置・全自動尿中有形分析器	シスメックス(株)	各1式	令2
手術室	涙道内視鏡	ファイバーテック(株)	1式	令2
各病棟	電動ベッド	パラマウントベッド(株)	10台	令2
各病棟	生体情報モニタ	日本光電(株)	1式	令2
循環器内科	循環器サーバーシステム	グットネット	1式	令2
循環器内科	キャピオックス遠心ポンプコントローラー	テルモ(株)	1式	令2
循環器内科	大動脈バルーンポンプ	ゲッティング・ジャパン	1式	令2

科名	名称	銘柄	数量	購入年度
臨床検査科	ホルター測定器	フクダ電子(株)	1式	令2
透析室	透析装置	日機装(株)	1式	令2
臨床工学科	セントラルモニタ等	日本光電工業株式会社	1式	令3
放射線科	全身用X線骨密度測定装置	GEヘルスケア・ジャパン(株)	1台	令3
泌尿器科	膀胱腎盂ビデオスコープ	オリンパス株式会社	1台	令3
臨床検査科	冷却組織切片作成装置	サクラファインテックジャパン(株)	1台	令3
臨床検査科	超音波診断装置	富士フィルムヘルスケアシステム(株)	1台	令3
耳鼻科	電気眼振計 NY-50 眼球刺激装置 OK-5	リオン株式会社	1式	令3
臨床工学科	セントラルモニター	日本光電工業株式会社	1式	令3
透析室	RO装置人工透析用水処理装置	ダイセン・メンブレン・システムズ(株)	1台	令3
循環器内科	血管造影装置等	(株)島津製作所	1台	令3
循環器内科	エキシマレーザー等	フィリップス・ジャパン	1台	令3
内視鏡	内視鏡被爆防止スコープ	オリンパス株式会社	1式	令3
循環器内科	循環器映像スイッチャー	(株)メディプラス	1式	令3
眼科	眼科顕微鏡	カールツァイス株式会社	1式	令3
リハビリ	心臓リハビリテーションシステム	フクダ電子(株)	1式	令4
眼科	眼科視野計	カールツァイス社(株)	1式	令4
各病棟	電動ベッド	パラマウントベッド(株)	10台	令4
耳鼻科	重心動揺計	アニマ(株)	1式	令4
手術室	整形外科Cアーム	富士フィルムメディカル(株)	1式	令4
各病棟	セントラルモニタ・ベッドサイドモニタ	日本光電(株)	1式	令4
西6階	保育器	アトムメディカル(株)	1式	令4
婦人科外来	婦人科エコー	富士フィルムメディカル(株)	1式	令4
手術室/各病棟	回診用X線撮影装置	(株)島津製作所	1式	令4

沿革

土地の面積・
建物の構造・面積

職員数

組織機構図

受診患者数

主要医療機器

患者紹介用FAX用紙

浅間総合病院医療連携係行

20 年 月 日

FAX 0267-67-4920

浅間総合病院

科 医師

【受診希望日】※患者様がお待ちの場合はご一報下さい。

□本日(緊急) (来院方法: □救急車 □自家用車 □その他) ()

□後日 □いつでも良い
□希望日 (① ② ③)

□不都合日 (① ② ③)

【患者基礎情報】

フリガナ

患者氏名 様 □男 □女

M・T
生年月日 S・H・R 年 月 日 (歳)

〒 住所 浅間総合病院の受診歴 (有・無・不明)

TEL - - 浅間総合病院ID

【診療情報提供書】 (貴院の書式でも構いません)

紹介目的

現在入院中 (□である □でない)

※服薬情報・血液データ・検査報告書など送信可能な資料がある場合は、併せてFAXをお願いします。

FAX受付時間 月曜日～金曜日
休診日 土曜日 日曜日

午前8時30分～午後5時
祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
FAX 0267-67-4920 (直)
TEL 0267-67-2295 (代)

MRI検査予約申込書

(診療情報提供書)

佐久市立国保 浅間総合病院 医療連携係

FAX : 0267-67-4920(直通)

TEL 0267-67-2295 (代)

フリガナ ()	性別	医療機関名 御担当医 電話番号 FAX
患者氏名 様	男・女	
生年月日 M・T・S・H・R 年 月 日 (歳)		
住所 電話 ()		

浅間総合病院受診歴 あり 診察券番号がわかればご記入下さい。(- -) なし

希望日時	① 20 年 月 日 () AM・PM : 頃
	② 20 年 月 日 () AM・PM : 頃
	③ 20 年 月 日 () AM・PM : 頃

検査結果	画像形態 <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/> CD-R	読影希望 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
	画像送付方法 <input type="checkbox"/> 患者さん持ち帰り <input type="checkbox"/> 郵送	(読影結果は1週間前後かかります)

検査部位 単純 造影 ※1回の検査につき1部位のご依頼とさせていただきます。

部位	<input type="checkbox"/> 頭部	<input type="checkbox"/> 頸部	<input type="checkbox"/> 胸部	<input type="checkbox"/> 腹部	<input type="checkbox"/> 骨盤	<input type="checkbox"/> 脊椎	<input type="checkbox"/> 四肢
----	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------

以下の詳細についてもチェックをお願い致します。(その他の場合は必ず詳細部位の記入をお願い致します)

詳細撮影部位	<input type="checkbox"/> 脳	<input type="checkbox"/> 頸部	<input type="checkbox"/> 縦隔	<input type="checkbox"/> 肝臓	<input type="checkbox"/> 子宮・卵巣	<input type="checkbox"/> 頸椎	<input type="checkbox"/> 上肢 右・左 部位() <input type="checkbox"/> 下肢 右・左 部位()
	<input type="checkbox"/> 脳動脈	<input type="checkbox"/> 頸動脈	<input type="checkbox"/> 乳房 (右・左)	<input type="checkbox"/> 膵臓	<input type="checkbox"/> 膀胱	<input type="checkbox"/> 胸椎	
	<input type="checkbox"/> 頭頸部 動脈	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 腎臓	<input type="checkbox"/> 前立腺	<input type="checkbox"/> 腰椎	
	<input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> MRCP	<input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> その他 ()	

※ 身長 cm 体重 kg (必ずご記入下さい)

診療情報提供書

臨床診断(傷病名又は主訴)	経過・症状
検査目的	
検査時の希望等	

- ・ 予約完了次第(30分以内)、【MRI検査予約票】および【MRI検査問診票】、【MRI検査を受けられる方へ】をFAX送信致しますので、患者さんにお渡し下さい。問診票はその場で漏れなく記入し、当院へFAXしたうえで、当日必ず患者さんをご持参下さい。
- ・ 造影検査の場合、【造影検査を受ける方へ(説明・問診・同意書)】を予約票といっしょにFAX送信致しますので、漏れなく記入、署名のうえ、当院へFAXし、当日必ず患者さんをご持参下さい。
- ・ 情報をFAXすることに関しましては患者さんの同意を得て下さい。

CT検査予約申込書

(診療情報提供書)

佐久市立国保 浅間総合病院 医療連携係

FAX : 0267-67-4920(直通)

TEL 0267-67-2295 (代)

フリガナ ()	性別	医療機関名 御担当医 電話番号 FAX
患者氏名 様	男・女	
生年月日 M・T・S・H・R 年 月 日 (歳)		
住所 電話 ()		

浅間総合病院受診暦 あり 診察券番号がわかればご記入下さい。(- -) なし

希望日時	① 20 年 月 日 () AM・PM : 頃
	② 20 年 月 日 () AM・PM : 頃
	③ 20 年 月 日 () AM・PM : 頃
検査結果	画像形態 <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/> CD-R 画像送付方法 <input type="checkbox"/> 患者さん持ち帰り <input type="checkbox"/> 郵送 読影希望 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし (読影結果は1週間前後かかります)

検査部位	<input type="checkbox"/> 単純 <input type="checkbox"/> 造影(<input type="checkbox"/> ビグアライド系糖尿病薬の服用 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)						
部位	<input type="checkbox"/> 頭部	<input type="checkbox"/> 頸部	<input type="checkbox"/> 胸部	<input type="checkbox"/> 腹部	<input type="checkbox"/> 骨盤	<input type="checkbox"/> 脊椎	<input type="checkbox"/> 四肢
以下の詳細についてもチェックをお願い致します。(その他の場合は必ず詳細な部位記入をお願い致します)							
詳細撮影部位	<input type="checkbox"/> 頭部 <input type="checkbox"/> 脳動脈 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 頸部 <input type="checkbox"/> 頸動脈 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 肺・縦隔 <input type="checkbox"/> 大動脈 <input type="checkbox"/> 乳房 (右・左) <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 肝～腎 <input type="checkbox"/> 肝～骨盤 <input type="checkbox"/> 大動脈 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 骨盤部 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 頸椎 <input type="checkbox"/> 胸椎 <input type="checkbox"/> 腰椎 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 上肢 右・左 部位 () <input type="checkbox"/> 下肢 右・左 部位 ()

診療情報提供書

臨床診断(傷病名又は主訴)	経過・症状
検査目的	
検査時の希望等	

- ・ 予約完了次第(30分以内)【CT検査予約票】をFAX送信致しますので、患者さんにお渡し下さい。
- ・ 造影検査の場合、【造影検査を受ける方へ(説明・問診・同意書)】を予約票といっしょにFAX送信致しますので、漏れなく記入、署名のうえ、当院へFAXし、当日必ず患者さんがご持参下さい。
- ・ 情報をFAXすることに関しましては患者さんの同意を得て下さい。

核医学(RI)検査予約申込書 (診療情報提供書)

佐久市立国保 浅間総合病院 医療連携係

FAX : 0267-67-4920(直通)

TEL 0267-67-2295 (代)

フリガナ ()	性別	医療機関名
患者氏名 様	男・女	
生年月日 M・T・S・H・R 年 月 日 (歳)	御担当医	電話番号
住所	FAX	
電話 ()		
浅間総合病院受診暦 <input type="checkbox"/> あり 診察券番号がわかればご記入下さい。(- -) <input type="checkbox"/> なし		
希望日時	① 20 年 月 日 () AM・PM : 頃	
	② 20 年 月 日 () AM・PM : 頃	
	③ 20 年 月 日 () AM・PM : 頃	
検査結果	画像形態 <input type="checkbox"/> フィルム <input type="checkbox"/> CD-R 画像送付方法 <input type="checkbox"/> 患者さん持ち帰り <input type="checkbox"/> 郵送	読影希望 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし (読影結果は1週間前後かかります)

検査種別		
<input type="checkbox"/> 骨	<input type="checkbox"/> Ga	<input type="checkbox"/> 脳血流() <input type="checkbox"/> 甲状腺()
<input type="checkbox"/> 心筋()	<input type="checkbox"/> 肺血流	<input type="checkbox"/> その他()

診療情報提供書

臨床診断(傷病名又は主訴)	経過・症状
検査目的	
検査時の希望等	

- ・ 予約完了次第(30分以内)【RI検査予約票】をFAX送信致しますので、患者さんにお渡し下さい。
- ・ 情報をFAXすることに関しましては患者さんの同意を得て下さい。

ご案内図



交通のご案内

■お車で

- 上信越自動車道「佐久IC」より車で10分
- 上信越自動車道「佐久小諸JCT」から中部横断自動車道「佐久中佐都IC」へ、ICから車で7分

■電車で

- 北陸新幹線・JR小海線「佐久平駅」下車 車で3分
- JR小海線「岩村田駅」下車 車で2分(徒歩10分)



佐久市立国保浅间総合病院

〒385-8558 長野県佐久市岩村田 1862 番地 1 TEL.0267-67-2295 (代) E-mail : info@asamaghp.jp